

「令和4年度 クールジャパン官民連携プラットフォーム 活性化及び事例創出等におけるKGI/KPI策定調査業務」

事業報告書 詳細版

令和5年3月31日(金)

目次

第1章 事業概要	P3
(1) 本事業の推進方針	P4
(2) 本事業の目的・背景	P5
(3) 実施体制	P7
(4) 実施スケジュール	P8
第2章 実施業務詳細	P10
(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査	P11
CJPF AWARD	
① CJPF AWARD 企画概要	P13
② 対象事例の募集	P14
③ 審査員の依頼、審査会の実施	P26
④ 表彰式開催の告知	P34
⑤ 表彰式の実施	P37
⑥ 受賞者発表の広報	P45
CJPF ライブ	
① CJPFの活性化を目的とした官民共創プログラムの創出 — 「CJPFライブ」	P49
② 第1回CJPFライブ	P52
③ 第2回CJPFライブ	P56
④ 第3回CJPFライブ	P61
⑤ 第4回CJPFライブ	P67
(2) CJPF事業における調査、実装、運営・評価に関する業務	P72
① CJPF事業におけるKGI/KPI提案に向けた実証調査	P73
② CJPFにおけるCJプロジェクト(事業モデルケース)の運営と評価項目の実装	P123
第3章 全体総括	P144
(1) 本事業の成果	P145
(2) 今後取り組むべき課題と施策	P146
APPENDIX	P147

第1章 事業概要

(1) 本事業の推進方針

- ◆ 本事業の調査目的を達成するため、実施にあたり、
「これまでのクールジャパン(CJ)の課題やCJ戦略再構築の観点、知的財産推進計画を理解し、本事業の実施内容に落とし込むこと」、
「昨年までの調査結果を活かし、“価値の発掘”から次のフェーズとなる“発信・共有”、“事業創造”に繋がるマッチングの強化まで想定した企画を行うこと」、
「CJPF主要メンバーや会員企業、その他新設されるCJプロデューサーとも連携し、CJPF全体としての機能の高度化を図ること」
の3点を重視して推進した。

本事業の調査目的

- 当調査は、CJPFの機能強化と新たな役割の実装に向けた運営機能の強化、及び実践的活動に向けた調査であり、これを通じてCJ戦略の再構築と評価検証に資するKGI/KPIを策定する為のモデルケースとする。

仕様書上の要件

- (1) CJPF事業における各種イベントの企画・運営・評価に関する調査
- (2) CJPF事業における調査、実装、運営・評価に関する業務
 - ・ CJPF事業におけるKGI/KPI提案に向けた実証調査
 - ・ CJPFにおけるCJプロジェクト(事業モデル)の運営と評価の実装
 - ・ 打ち合わせ及び会議運営、各種報告書作成

評価基準で求められる主な要件

- ・ 本事業の目的を理解し、各調査において実施可能で、かつ有益・独創的な(ユニークな視点)提案がなされているか
- ・ 実績や専門知識が十分な人員体制であるか
- ・ 中長期的な視点を踏まえてのKGI/KPI策定方針、及び次年度以降のCJPFの継続運営に資するアウトプットがなされているか
- ・ 知的財産推進計画2023における戦略を前提とした提言となっているか

Point1

- これまでのCJの課題やCJ戦略再構築の観点、知的財産推進計画を理解し、本事業の実施内容に落とし込むこと

Point2

- 昨年度までの調査結果を活かし、“価値の発掘”から次のフェーズとなる“発信・共有”“事業創造”に繋がるマッチングの強化まで想定した企画を行うこと

Point3

- CJPF主要メンバーや会員企業、その他新設されるCJプロデューサーとも連携し、CJPF全体としての機能の高度化を図ること

(2) 本事業の目的・背景

- ◆ 本事業では、令和元年9月に決定された「クールジャパン戦略」、及び令和3年7月に決定された「クールジャパン戦略の再構築」に示される「クールジャパン官民連携プラットフォーム（以下CJPF）」が、期待される役割を果たすために必要なご提案・調査を推進した。

背景・方針

令和元年9月に決定された「クールジャパン戦略（以下 CJ 戦略）」1、及び令和3年7月に決定された「クールジャパン戦略の再構築」2より、我が国のブランド力再興に向けた取り組みの中心的役割を担うのが「クールジャパン官民連携プラットフォーム（以下 CJPF）」3である。

令和3年7月に決定された「知的財産推進計画 2021」においては、CJ 戦略の再構築が決定され、CJPF の新たな役割への期待も込められている。また、令和4年6月の「知的財産推進計画2022」では、CJPFの機能強化についても検討が行われている。

本事業は、上記内容を踏まえ、CJPFの機能強化と新たな役割の実装に向けた運営機能の強化、及び実践的活動に向けた調査であり、これを通じてCJ戦略の再構築と評価検証に資するKGI/KPIを策定する為のモデルケースとする。

クールジャパン戦略 1

世界の「共感」を得ることを通じ、日本のブランド力を高めるとともに、日本への愛情を有する外国人（日本ファン）を増やすことで、**日本のソフトパワーを強化**する。

- ✓ 官民、地域間、異業種間の連携強化により幅広い日本の魅力を発掘し、磨き上げる。
- ✓ 地方や幅広い業種の関与を促す。
- ✓ ストーリー化、動画の活用等、デジタル時代に相応しい発信の工夫及び強化を行う。
- ✓ 外国人の目線を意識する。

クールジャパン戦略の再構築 2

コロナ後のクールジャパンを取り巻く「新たに重視する要素」「強化する要素」を加味する。

- 「新たに重視する要素」
 - ✓ 価値観の変化への対応
 - ✓ 「自然、エコ、SDGs、安全安心、衛生、健康等」の要素を取り入れ、ストーリー化して発信する。
 - ✓ 輸出とインバウンドの好循環の構築
 - ✓ アフターコロナを見据え**将来のインバウンドへ繋ぐ**好循環を構築する。
 - ✓ **デジタル技術を活用**した新たなビジネスモデルの確立
- 「強化する要素」
 - ✓ 発信力
 - ✓ CJ戦略を支えるCJPFの機能強化

クールジャパン官民連携プラットフォーム(CJPF) 3

クールジャパン戦略を深化させ、官民一体となってクールジャパンに取り組むことを目的とする。クールジャパンの様々な領域のなかで**「食・食文化」を中心としたプロジェクト運営の分野から社会実装**する。

- ✓ 地域性から生まれた文化が色濃く反映されている「食・食文化」をきっかけとして、多様な地域や関係者との連携、協力を得て取り組みを進める。
- ✓ 地域にある資源、作り手に光を当て、日本独自の魅力的なコンテンツとして磨き上げる活動を行う。上記を通じて、日本の各地域が世界から新たなディスティネーションとして認知され日本の活力を生み出す。
- ✓ 活動を通じて、環境先進国、エコ先進国、安全安心先進国、衛生先進国として日本のブランドイメージの確立を図っていく。

先期までの各方針

目的

方向性

(2) 本事業の目的・背景

◆ 前頁(P5)に加えて、令和4年6月に発表された、「知的財産推進計画2022」の内容を踏まえ、クールジャパンの再構築を推進した。

目的

クールジャパン戦略

世界の「共感」を得ることを通じ、日本のブランド力を高めるとともに、日本への愛情を有する外国人(日本ファン)を増やすことで、日本のソフトパワーを強化する。

基本の強化方針

「食・食文化」を中心とした、日本の本質的な魅力の磨き上げ

(それを担う地域や幅広い業種も巻き込む)

「自然、エコ、SDGs、安全安心、衛生、健康」など価値観の変化に伴う、グリーン・シフトの取り入れ

作り手、官民、地域間、異業種間などの連携強化により幅広い日本の魅力を発掘

ストーリー化、デジタル時代に相応しい発信の工夫

+

令和4年6月に発表された、「知的財産推進計画2022」の内容を踏まえ新たに下記を強化し、ご提案。

知的財産推進計画2022

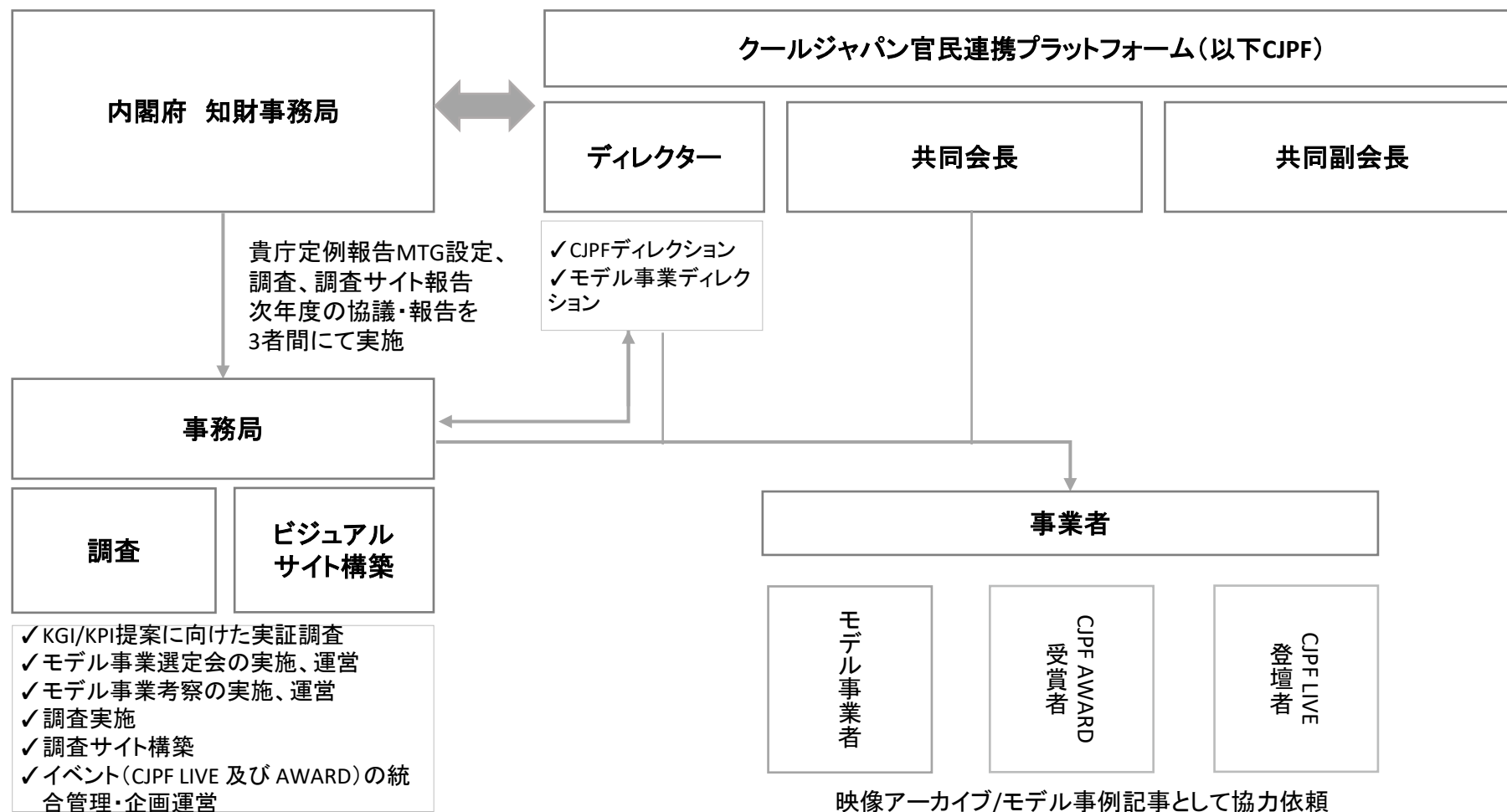
新たに重視するべき要素

- | | |
|---|---|
| 1 | CJ関係者の強みと弱みの相互補完を目的とした、日本の知財の積極的な推進と活用
地域連携、ブランド化、デジタル技術・テクノロジーの活用、海外マーケティング等、各専門の技術・知識を情報提供し、パートナー同士を繋いでいくことで、日本が持つ知財が積極的に磨かれ、発信できるような体制を検討してまいります。 |
| 2 | 情報の相互発信による、CJPF関係者によるコミュニティの共創や、マッチングの強化
スピーディな技術の社会実装を目的として、オープンイノベーションの促進に繋がるようなきっかけの場を企画します。CJPFが情報や交流のハブとなり、CJ関係者や各業界の事業者、外国人など、アフターコロナを見据え将来的にコミュニティ同士の共創や関係者のマッチングに繋げていきます。 |
| 3 | デジタル化に対応したコンテンツ・クールジャパン戦略の検討
Web3.0の流れに対応した新しい形のメディア・コンテンツを意識し、コミュニケーションツール、デジタル技術の活用を積極的に取り入れてまいります。 |
| 4 | サステナビリティやSDGsの視点からの日本の魅力の磨き上げ
令和3年度の調査分析において顕在化が確認された「サステナビリティ」、「自然との共生」、「循環型社会」、「健康」、「プラントベース」など世界的な意識の変容と関心度の向上も狙いとして、サステナブルな視点から日本の魅力を発信し世界から共感が得られるストーリーを醸成します。 |

(3)実施体制

令和4年度クールジャパン官民連携プラットフォーム事業の実施体制

- ◆ 以下体制にて、令和4年度「クールジャパン官民連携プラットフォーム活性化及び事例創出等におけるKGI/KPI策定調査業務」の運営及び、モデル事業調査事業、調査ウェブサイト構築、CJPF LIVE 及び AWARD運営を実施した。



(5)実施スケジュール

- ◆ 具体的に以下スケジュールにて、令和4年度「クールジャパン官民連携プラットフォーム活性化及び事例創出等におけるKGI/KPI策定調査業務」の運営及び調査事業を実施した。

		2022年												2023年					
		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
大項目	中項目	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半
(1)CJPF における 各種イベ ントの企 画・ 運営・評 価の調査	①イベ ントの企 画 運営 ・CJPFラ イブ	実施	テーマ	設計・準備		ライブ	設計・準備		ライブ		設計・準 備	ライブ	CJPF AWARD連携・準備				ライブ	報告書作 成、提出	
	方針	確定	第1回			第3回						第3回					第4回		
	合意		9月1日									11月10日							12月10日
	①イベ ントの企 画 運営 ・CJPF AWARD	形成	取り組みテーマ候補の 事前調査審査要項策定		方針 策定 合意	告知Web 作成	告知・募集		事務局 審査	書類審査	審査会	準備		表彰式 3月9日					
	②各イベ ントにつ いて KGI/KPI の設定、 評価、報 告		ベース調査実施		方針合意	ライブ 第1回	振返り・検証		ライブ 第2回	振返り・ 検証	ライブ	振返り・検証			最終				
KGI/KPI仮説作成			第3回																
③各種イ ベントの 連携の提 言、支援	各タスク準備・連携 支援		方針合意	各タスク準備 連携支援		各タスク準備 連携支援		各タスク準備 連携支援		各タスク準備 連携支援									

(5)実施スケジュール

◆ 具体的に以下スケジュールにて、令和3年度「クールジャパン官民連携プラットフォーム活性化及び事例創出等におけるKGI/KPI策定調査業務」の運営及び調査事業を実施した。

		2022年												2023年					
		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
大項目	中項目	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半
(2)CJPF事業における調査・実装・運営・評価に関する業務	①CJPF事業におけるKGI/KPI調査	実施方針合意形成	各PJ候補のKGI/KPI仮説作成、		方針合意	計画に基づいて調査事業推進					分析	追加調査・分析				分析	調査サイト		報告書作成、提出
	今年度計画策定		中間報告	報告会															
	②CJPFにおけるCJプロジェクト運営による評価項目の実装・CJプロジェクトの管理運営		PJ候補の選定	合意形成	各地域への現地訪問・コンテンツ制作					取材 ①伊根町 ②美山荘 ③気仙沼 ④今田酒造 ⑤瀬戸内醸造所	準備			取材 ⑥金沢まいもん寿司	取材 ⑦薩摩焼酎	取材 ⑧球磨焼酎	取材 ⑨隠岐諸島		
	選定会		取材依頼	記事制作															
	②CJPFにおけるCJプロジェクト運営による評価項目の実装「cjpg.jp」の管理運営		サイトコンテンツ、デザイン設計		方針合意	サイト構築		テストサイト確認		サイト更新・各調査事業毎に常時反映									
	③打ち合わせ及び会議運営各種報告書作成	各プロジェクトが始動したら随時																	
								準備	中間報告									準備	最終報告

第2章 実施業務詳細

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

- ①CJPF AWARD
- ②CJPF ライブ

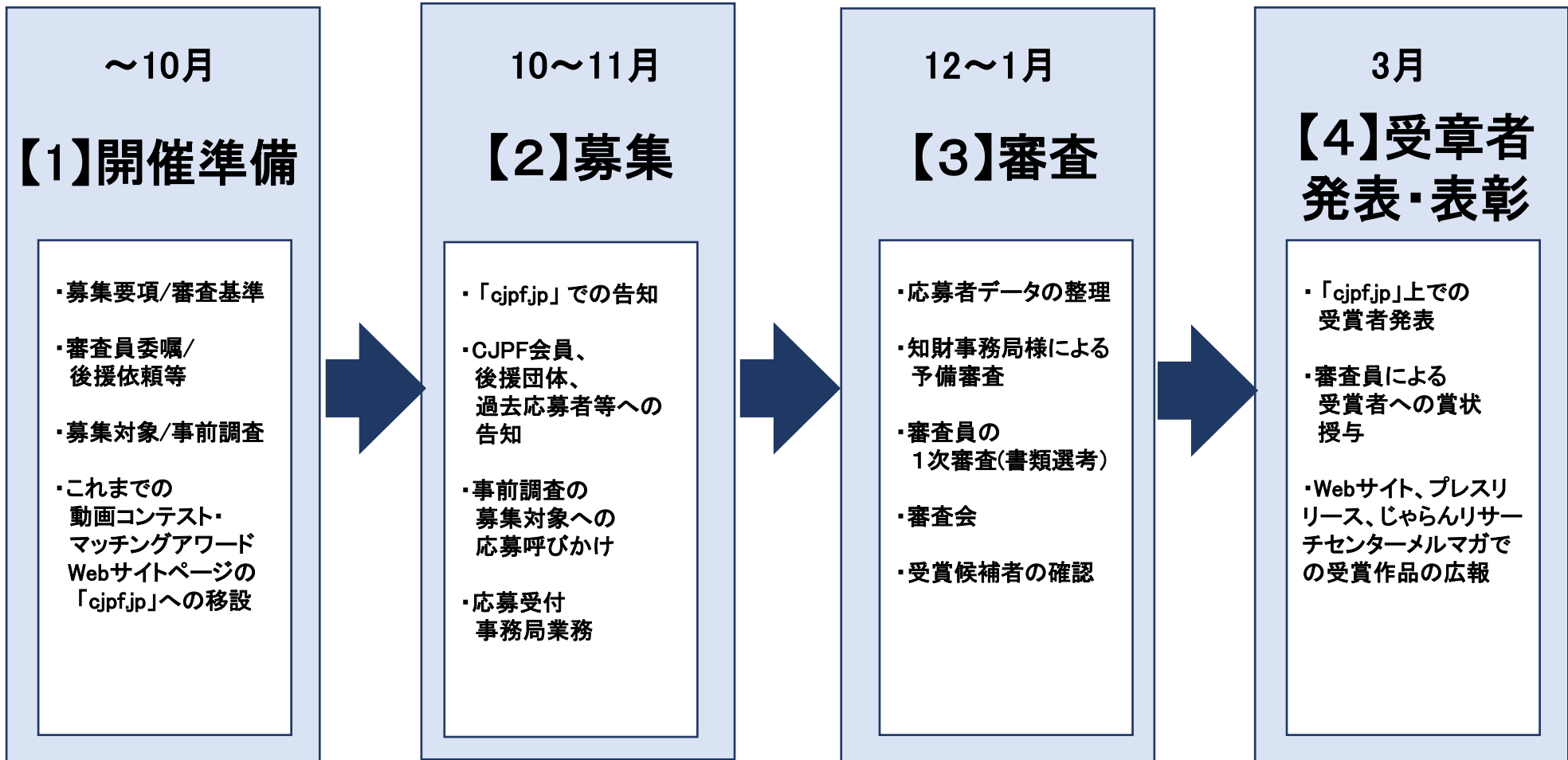
(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

CJPF AWARD

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

①CJPF AWARD 企画概要

- ◆ 令和4年度 クールジャパン・プラットフォームアワード(クールジャパン官民連携プラットフォーム活性化及び事例創出等におけるKGI/KPI策定調査業務)に係る対象事例の収集、募集及び表彰式等の実施業務において、以下の企画及び実施を行った。



(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

②対象事例の募集 ー 1、対象事例の募集、応募の促進

- 令和4年度 クールジャパン・プラットフォームアワード(クールジャパン官民連携プラットフォーム活性化及び事例創出等におけるKGI/KPI策定調査業務)に係る実施業務において、対象事例の募集を行うため、アワードのタイトル、主旨文、募集要項等の作成を行った。WEBサイトは全体を英語に対応させた。

【1】対象事例募集の要項等の作成

1	タイトル クールジャパン・プラットフォームアワード2023(CJPF AWARD2023)
2	主旨文 アフターコロナの世界に向けて、日本の魅力を発信するクールジャパンの取組を募集。「ムービー(動画)」と「プロジェクト(事業)」の2部門のグランプリを選出、表彰。 ※旧「クールジャパン動画コンテスト」と旧「クールジャパン・マッチングアワード」を統合して、CJPFアワードとして開催します。
3	開催趣旨 アフターコロナの世界に向けて、地域の自然、文化、産業、食・食文化、観光、コンテンツ、ものづくり、最先端のデジタル技術まで、日本の魅力をサステナブルなストーリーとして発信し、日本のファンのコミュニティを広げていくことが求められています。※1 CJPFアワード2023は、日本の魅力を海外に伝えるムービー(動画)と日本の新しい価値や魅力を創出し海外に展開するプロジェクト(事業)を募集し、表彰します。※2 これにより、新しいスタイルが広がる世界に向けたクールジャパンの智恵や実績が結集・共有され、マッチングの拡大、クールジャパンの取組が推進することを期待します。 ※参照1:「クールジャパン戦略(以下CJ戦略)」(2019年9月決定)「知的財産推進計画2021」における「クールジャパン戦略の再構築」(2021年7月決定)「知的財産推進計画2022」における「アフターコロナを見据えたクールジャパンの再起動」(2022年6月決定) ※参照2:クールジャパン戦略を深化させ、官民一体となってクールジャパンに取り組むことを目的として、「クールジャパン官民連携プラットフォーム」が2015年12月に官民・異業種連携の強化を図る場として設立されました。現在、コンテンツ企業や食品産業など様々な民間企業等が会員となっており、会員間やクールジャパン関係者とのマッチングを図り、新しい価値を創ったり、魅力を磨き上げることが求められています。2021年6月に開催された総会において、クールジャパンの様々な領域のなかでも、当面の活動として、「食・食文化」を中心としたプロジェクト運営などの方向性が示されました。
4	募集案内 CJPFアワード 2023 は、ムービー(動画)部門、プロジェクト(事業)部門の募集、表彰を行います。 ムービー部門は、地域の自然、文化、産業、食・食文化、観光等をストーリーにまとめ上げて日本の魅力を海外に伝えるムービー(動画)、プロジェクト部門は、事業者の創意工夫や異分野・異業種のマッチング等によって日本の新しい価値や魅力を創出し、海外に展開するプロジェクト(事業)を募集します。 応募の中から、「クールジャパン戦略」の取組としてふさわしい動画や事業を、それぞれ選出し、表彰します。選考はクールジャパン官民連携プラットフォームの共同会長、有識者、日本の魅力に理解が深い外国人等の審査員が行います。 賞は、各部門それぞれにグランプリ(1件程度)、準グランプリ(1~2件程度)、入賞を予定しています。また、ムービー部門については、内閣官房国際博覧会推進本部事務局と連携し、大阪・関西万博特別賞を予定しています。いずれの賞についても、2023年3月に受賞の発表、贈賞を行います。

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

②対象事例の募集 ー 1、対象事例の募集、応募の促進

5

CJPF AWARDに関するお問い合わせ
CJPF AWARD 2023事務局
担当:北、野木、小野打(おのうち)、長谷川、芦川
TEL:03-5544-9713 FAX:03-5544-9714
E-mail:cjpfa2023@cjma.go.jp

6

主催
クールジャパン官民連携プラットフォーム
クールジャパン官民連携プラットフォーム(事務局:内閣府知的財産戦略推進事務局)平成27年12月に、官民・業種の垣根を超えた連携を行いクールジャパン戦略を推進するために設立。現在、17の関係府省・関係機関、128の民間団体・民間企業・機関・個人が参加。各種情報共有やビジネスプロジェクト組成を後押ししています。

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

②対象事例の募集 ー 1、対象事例の募集、応募の促進

ムービー部門

a	募集対象 <ul style="list-style-type: none">・日本全体や各地域の魅力を海外に伝えるムービー(動画)が対象となります (例)地域の自然、文化、産業、食・食文化、観光などをストーリーにまとめ上げて、外国人に「日本のことをもっと知りたい」、「その地域に行ってみたい」と思わせるムービーなど(動画)
b	応募条件 <ul style="list-style-type: none">・外国語の使用、字幕の有無(音声の有無)など、発信の手法は問わないが、海外への発信(外国人視聴者)を想定した動画であること・既に公開されているものでも応募は可能。なお、既に公開されている場合、公開の時期は問わないが、アフターコロナに向けた動画が望ましいと考えます・タイトルごとの応募が原則ですが、複数のタイトルをまとめたシリーズの動画も応募は可能です・過去に開催されたクールジャパン動画コンテストで入賞した作品の応募は不可といたします・動画の長さは5分以内であることとします
c	応募者の条件 <ul style="list-style-type: none">・動画の制作者、著作権者、発信者・国内外の企業、行政機関、各種団体、個人(学生を含む)いずれも応募は可能です(学生は、グループ単位の応募も可能です)
d	賞 <ul style="list-style-type: none">・グランプリ:「クールジャパン戦略」の取組として総合的に判断して最も優れた動画に授与いたします。・準グランプリ:各部門それぞれグランプリに次いで優れた動画に授与いたします。・入賞:「クールジャパン戦略」の取組としてモデルになる動画に授与いたします。・大阪・関西万博特別賞: 2025年に開催される大阪・関西万博に向けて、機運の醸成等に貢献する動画に授与する予定です。 <p>※賞につきましては、応募状況や審査結果により変更になる可能性があります。あらかじめご了承ください。</p>
e	募集期間 <p>令和4年10月3日(月)～11月11日(金)</p>
f	応募方法 <p>本サイト(https://www.cjpf.jp/award/)にて応募受付を行っております。下記のリンクより、応募フォームに必要事項を記入の上、必要な資料を添付して、ご応募ください。</p>

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

②対象事例の募集 ー 1、対象事例の募集、応募の促進

プロジェクト部門

a	募集対象 <ul style="list-style-type: none">・事業者の創意工夫や異分野・異業種のマッチング等により、日本の新しい価値や魅力を創出し、海外に展開するプロジェクト(事業)が対象となります・マッチングの場合、分野・業種、地域は問いません
b	応募条件 <ul style="list-style-type: none">・どのような点が新しい価値や魅力であるか明確に説明できるものであること・新しい価値や魅力を創出したマッチング等の工夫が明確化されていること・インバウンド対応、輸出、海外への情報発信・広報など外国人を対象とした又は対象とする予定の事業であること・2021年4月以降に実施された又は現在実施している事業であること・販売等の営利事業、行政による広報等の非営利事業のいずれも応募は可能です・過去に開催されたクールジャパン・マッチングアワードで入賞した作品の応募は不可といたします
c	応募者の条件 <ul style="list-style-type: none">・事業の実施者・国内外の企業、行政機関、各種団体、個人(学生を含む)いずれも応募は可能(学生は、グループ単位の応募も可能です)・マッチングによる連携先がある場合には、連携先を明記してください
d	賞 <ul style="list-style-type: none">・グランプリ:「クールジャパン戦略」の取組として総合的に判断して最も優れた事業に授与いたします・準グランプリ:各部門それぞれグランプリに次いで優れた事業に授与いたします。・入賞:「クールジャパン戦略」の取組としてモデルになる事業に授与いたします <p>※賞につきましては、応募状況や審査結果により変更になる可能性があります。あらかじめご了承ください。</p>
e	募集期間 <p>令和4年10月3日(月)～11月11日(金)</p>
f	応募方法 <p>本サイト(https://www.cjpf.jp/award/)にて応募受付を行っております。下記のリンクより、応募フォームに必要事項を記入の上、必要な資料を添付して、ご応募ください。</p>

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

②対象事例の募集 ー 1、対象事例の募集、応募の促進

【2】先進的事例の募集、応募の促進の方法

対象事例の募集は、本事業のWEBサイトを開設し、募集告知・応募受付を行うと同時に、募集告知のパンフレットを作成・配布した。応募の促進の方法として、調査・収集した対象事例への応募案内、リリース発信によるメディアを通じた告知等、下記の施策を行った。

WEBサイト・パンフレットの作成

- ・本事業WEBサイトの作成・募集案内・応募受付
- ・募集パンフレットの作成・告知

応募促進の方法

- ・調査・収集した先進的事例への応募案内
- ・リリース発信によるメディアを通じた告知
- ・後援団体、クールジャパン官民連携プラットフォーム構成団体等への告知、募集案内

(1)CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

②対象事例の募集 ー2、対象事例の調査・収集、募集案内

- ◆ 分野や地域との連携によって、日本の魅力を掘り下げ、世界に伝える「クールジャパン(CJ)戦略」において時代が求める新しいスタイルへの対応の現状を把握し、優良な事例を収集するため対象事例の調査を行い、下記の1,124件以上のリストに取りまとめ、アワード応募を呼びかけた。

ムービー部門

食・食文化	コンテンツ	観光	文化	ものづくり	産業	自然	その他	小計
53	7	525	71	12	13	129	15	825

プロジェクト部門

食・食文化	コンテンツ	観光	文化	ものづくり	産業	自然	デジタル技術	その他	小計
73	8	47	62	21	11	3	64	10	299

▼調査リストを作成。対応(架電で応募までフォロー/架電案内/メール案内)を日時で更新し、優良事例を集めた。

CJPF動画部門 候補調査リスト														
Aリスト 応募完了		Bリスト 応募完了		Cリスト 応募完了		応募完了 合計								
121		14		167		302								
列追加NG	列追加NG	列追加NG	列追加NG	列追加NG	列追加NG									
列追加NG！						列追加NG！			列追加NG！			列追加NG！		
▼緑のセルは、同じ列に重複あり						▼赤のセルは、同じ列に重複あり								
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		
*1は必須入力→						*			*			*		

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

②対象事例の募集 ー3、募集パンフレットの作成・配布

- ◆ CJPF AWARDの募集パンフレットを作成。CJPF会員及び、じゃらんリサーチセンター会員に向けて応募を呼びかけた。



CJPF AWARD

参考：CJPF2023特設ページ (<https://cjpf.jp/award/>)

01 開催趣旨

「クールジャパン戦略」では、日本各地域の歴史・伝統から継承される文化・産業（食、自然、ものづくり、観光）やコンテンツ（エンターテインメント、漫画、アニメなど）、最先端のデジタル技術を駆使したもので、日本の魅力をサステナブルなストーリーとして、世界に向けて発信したいと考えております。CJPFアワード2023は、日本の魅力を海外に伝えるムービー（動画）と日本の新しい価値や魅力を創出し海外に展開するプロジェクト（事業）を募集し、表彰します。アフターコロナの時代を見据えて、クールジャパンの習恵や実績が結集し、クールジャパンの取組が加速されることを目指します。

02 募集案内

CJPFアワード2023は、ムービー（動画）部門、プロジェクト（事業）部門の募集、表彰を行います。応募の中から、日本の魅力を世界へ発信する「クールジャパン戦略」の動画や事業を、それぞれ選出し、表彰します。選考はクールジャパン官民連携プラットフォームの共同会長、有識者、日本の魅力に理解が深い外国人等の審査員が行います。賞は、各部門それぞれにグランプリ（1件程度）、準グランプリ（1～2件程度）、入賞を予定しています。また、ムービー部門については、内閣官房国際博覧会推進本部事務局と連携し、大阪・関西万博特別賞を予定しています。いずれの賞についても、2023年3月に受賞の発表、贈賞を行います。

CJPF AWARD ムービー部門

クールジャパン・ムービーグランプリ

<募集対象>
日本全体や各地域の魅力を海外に伝える動画

<応募条件>
・外国語の使用、ナンバーなど発信の手法は問わないが、海外への発信（外国人視聴者）を想定した動画であること
・制作、公開の時期は問わないが、アフターコロナに向けた動画が望ましいと考えます
・タイトルごとの応募が原則ですが、複数のタイトルをまとめたシリーズの動画も応募は可能です
・動画の長さは5分以内であることとします

<応募者の条件>
動画の制作者、応募動画の著作権を有する方、発行者
国内外の企業、行政機関、各種団体、個人（学生を含む）

※応募いただく際は、応募者の責任において、著作権・肖像権等のご確認をお願いいたします。

CJPF AWARD プロジェクト部門

クールジャパン・ニューバリューグランプリ

<募集対象>
事業者の創意工夫や異分野・異業種のマッチング等により、日本の新しい価値や魅力を創出し海外に展開するプロジェクトや事業

<応募条件>
・どのような点が新しい価値や魅力であるが明確に説明できるものであること
・新しい価値や魅力を創出したマッチング等の工夫が明確化されていること
・インバウンド対応、輸出、海外への情報発信、広報など外国人を対象とした又は対象とする予定の事業であること
・2021年4月以降に実施された又は現在実施している事業であること
・販売等の営利事業、行政による広報等の非営利事業のいずれも応募は可能です

<応募者の条件>
事業の実施主体者
国内外の企業、行政機関、各種団体、個人（学生を含む）

※過去に開催されたクールジャパン動画コンテスト、クールジャパンクールジャパン・マッチングアワードで入賞した作品の応募は不可

募集締め切り：令和4年11月11日（金）

＜お問い合わせ＞ CJPF AWARD 2023事務局 担当：北、野木、小野打（おのうち）、長谷川、戸川
TEL:03-5544-9713 / E-mail: info@cjma.go.jp
主催：クールジャパン官民連携プラットフォーム

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

②対象事例の募集 ー4、WEBサイトの作成・募集案内・応募受付

- ◆ 募集にあたり、Webサイト(日・英)を用意した。



(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

②対象事例の募集 ー5、リリース発信によるメディアを通じた告知

◆ 募集にあたり、様々なチャネルを通じて幅広く告知し、対象事例を収集した。

チャネル名	実施概要	効果
PRタイムズ	<ul style="list-style-type: none"> CJPF AWARD実施のお知らせを掲載し、応募促進を実施。 	一般メディア等に対して、認知を広めることが出来た。
じゃらんリサーチセンター メルマガ	<ul style="list-style-type: none"> じゃらんリサーチセンターに会員登録されている自治体・企業等へのメールマガジンにて、CJPF AWARDへの応募促進を実施。 	観光に温度感高く携わっている自治体・企業に、広くアプローチすることが出来た。
CJマッチングアワード過去応募者へのメール通知	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度以前のCJマッチングアワードに応募された企業・団体に対する応募促進を実施。 	過去の応募時より、さらにブラッシュアップされた案件の応募につなげることが出来た。
CJPF会員へのメール通知	<ul style="list-style-type: none"> CJPF会員様に対して、応募促進を実施。 	CJPF会員様の関与する団体等の取組みをご紹介いただき、応募につなげることが出来た。
じゃらん⇒DMOへの出向者、及びじゃらんエリアプロデューサーと連携	<ul style="list-style-type: none"> リクルートの出向者が所属するDMO、及び関連団体、JRCのエリアプロデューサーに対して、CJPF AWARD応募に資する案件があれば応募をいただくよう依頼。 	自治体と直接接点を持っている弊社のリソースを活用することで、効率的に応募につなげることが出来た。
リクルートの各関連部署(WowBase・学び事業部)との連携	<ul style="list-style-type: none"> リクルートの人事部、まなび事業部と連携し、学生向けの広報を行った。 	学生含め、認知を幅広く広めることができ、来期の取り込みにもつなげることが出来た。
個別アプローチ	<ul style="list-style-type: none"> PRタイムズ、youtubeなどからCJPFに資する取組みを収集し、応募を個別に促進。 	CJPF AWARDの開催趣旨に沿った取組みを効率的に収集することが出来た。

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

②対象事例の募集 ー5、リリース発信によるメディアを通じた告知

- ◆ 前頁に記載した、PRタイムズおよび、じゃらんリサーチセンターメルマガの告知は以下の通り。

PRタイムズ

PR TIMES プレスリリース・ニュースリリース配信サービスのPR TIMES
Top | テクノロジー | モバイル | アプリ | エンタメ | ビューティー | ファッション | ライフスタイル | ビジネス | グルメ

“日本の魅力を発信するクールジャパンの取組”を募集・表彰する、「CJPFアワード2023」を開催します。

※今年度は旧「クールジャパン動画コンテスト」と「クールジャパン・マッチングアワード」を統合したアワードを開催し、「ムービー（動画）部門」と「プロジェクト（事業）部門」でグランプリを選出・表彰します。

内閣府知財戦略推進事務局
2022年10月19日 10時00分

内閣府 知財戦略推進事務局では「クールジャパン戦略」の取組として、日本各地域の自然、歴史、伝統から継承される文化・産業（食、伝統芸能、ものづくり、観光など）やコンテンツ（エンターテインメント、漫画、アニメなど）、最先端のデジタル技術を開発したもので、日本の魅力をサステナブルなストーリーとして、世界に向けて発信したいと考えています。

「CJPFアワード2023」では、日本の魅力を海外に伝える「ムービー（動画）」と日本の新しい価値や魅力を創出し海外に展開する「プロジェクト（事業）」を募集し、表彰します。アフターコロナの時代を見据えて、クールジャパンの価値や実績が結集し、クールジャパンの取組が加速されることを目指します。

<CJPFアワード2023募集サイト>
<https://cjpf.jp/award/>

・「CJPFアワード2023」概要



「ムービー（動画）部門」は、地域の自然、文化、産業、食・食文化、観光等をストーリーにまとめて日本の魅力を海外に伝えるムービー（動画）。「プロジェクト（事業）部門」は、事業者の創意工夫や異分野・異業種のマッチング等によって日本の新しい価値や魅力を創出し、海外に展開するプロジェクト（事業）を募集します。応募の中から、「クールジャパン戦略」の取組としてふさわしい動画や事業を、それぞれ選出し、表彰します。

じゃらんリサーチセンターメルマガ

Subject: 【海外向け動画・プロジェクト募集！】日本の魅力を発信する＜CJPF AWARD 2023＞応募受付開始のお知らせ

<お知らせ>日本の魅力を世界に発信するクールジャパンの取組を募集します！
【CJPF AWARD 2023】「ムービー部門」「プロジェクト部門」で募集開始



—【じゃらん観光ネットワーク推進～特別号】—
※配信停止をご希望の方は、本メール最後をご覧ください。

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ
野木 高宏 様
【JPN 会員番号:051298】

こんにちは、株式会社リクルートじゃらんリサーチセンター（JRC）です。
CJPF AWARD 2023「ムービー部門」「プロジェクト部門」の募集情報をお伝えします。

【応募受付を開始いたしました！】※応募締め切り:令和4年11月11日(金)
日本の魅力を世界へ発信する「クールジャパン戦略」
動画や事業を選出する＜CJPF AWARD 2023＞を開催いたします！

※旧「クールジャパン動画コンテスト」と旧「クールジャパン・マッチングアワード」を統合し、CJPF（クールジャパン/官民連携プラットフォーム）アワードとして開催します。
※JRCにて、本事業の事務局運営を受託しております

【開催趣旨】
アフターコロナの世界に向けて、地域の自然、文化、産業、食・食文化、観光、コンテンツ、ものづくり、最先端のデジタル技術まで、日本の魅力をサステナブルなストーリーとして発信し、日本のファンとのコミュニティを広げていくことが求められています。
CJPF AWARD 2023 は、日本の魅力を海外に伝える「ムービー（動画）」と、日本の新しい価値や魅力を創出し海外に展開する「プロジェクト（事業）」を募集し、表彰します。

【CJPF AWARD ムービー部門（クールジャパン・ムービー・グランプリ）】
地域の自然、文化、産業、食・食文化、観光等をストーリーにまとめて日本の魅力を海外に伝えるムービー（動画）を募集します。

▼ムービー部門の応募フォームはこちら
<https://www.cjma.go.jp/cjpf/2023/movie/entries>

応募者情報、応募する動画が視聴可能なURL、工夫したポイント等について、応募フォームにご記入をお願いいたします。

【CJPF AWARD プロジェクト部門（クールジャパン・ニュー・リョウラン賞）】
事業者の創意工夫や異分野・異業種のマッチング等によって日本の新しい価値や魅力を創出し、海外に展開するプロジェクト（事業）を募集します。

▼プロジェクト部門の応募フォームはこちら
<https://www.cjma.go.jp/cjpf/2023/project/entries>

(1)CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

②対象事例の募集 ー6、後援団体、クールジャパン官民連携プラットフォーム構成団体等への告知、募集案内

- ◆ 事務局より、後援団体に告知協力を依頼し、後援団体会員等に募集案内を行っていただいた。
- ◆ 知財事務局より、クールジャパン官民連携プラットフォーム構成団体に告知協力を依頼し、後援団体会員等に募集案内を行っていただいた。

後援団体

団体名	協力内容
独立行政法人日本貿易振興機構	・ 会員等に募集案内発信の協力
特定非営利活動法人映像産業振興機構	・ メールニュースにて募集案内を発信
日本商工会議所	・ 日本商工会議所HPにて募集案内を掲載
東京商工会議所	・ 会員等に募集案内発信の協力
株式会社海外需要開拓支援機構	・ 会員等に募集案内発信の協力
一般社団法人日本旅行業協会	・ 会員等に募集案内発信の協力

その他：地方銀行協会、地方信用金庫にむけても、後援依頼を実施した。

The screenshot shows the JCCI website with the 'Trend Box' section highlighted. The section is titled 'クールジャパン・プラットフォームアワード(CJPFアワード2023)の募集について (内閣府知財戦略推進事務局)' and includes details about the award, application periods, and contact information.

トレンドボックス

クールジャパン・プラットフォームアワード(CJPFアワード2023)の募集について (内閣府知財戦略推進事務局)

2022年10月27日 13:16

内閣府知財戦略推進事務局が事務局を務め、「クールジャパン官民連携プラットフォーム」が主催する「CJPFアワード2023」では、2022年10月3日(月)～11月11日(金)の期間にかけて、ムービー(動画)、プロジェクト(事業)部門の二部門にて募集している。

◆ムービー部門：
地域の自然、文化、産業、食・食文化、観光等をストーリーにまとめ上げて、日本の魅力を海外に伝えるムービー(動画)を募集

◆プロジェクト部門：
事業者の創意工夫や業分野・業種間のマッチング等によって日本の新しい価値や魅力を創出し、海外に展開するプロジェクト(事業)を募集

◆募集WEBサイト：<https://www.cjpf.jp/award/>

◆応募フォーム
ムービー部門：<https://www.cjpf.jp/award/2023/movie/entries>
プロジェクト部門：<https://www.cjpf.jp/award/2023/project/entries>

◆募集期間(二部門共通)：
令和4年10月3日(月)～11月11日(金)
※11月11日以降に締切りを延長することもあるため、延長を希望の場合は事前に事務局までご相談

◆アワード表彰：令和5年3月(予定)

お問合せ：
内閣府知財戦略推進事務局
担当：中園、黒木、辻
TEL：03-3581-4225

クールジャパン・プラットフォームアワード2023事務局
(CJPF AWARD 2023事務局)
担当：北、梶山、小野田(おののうち)、長谷川、西川
TEL：03-5544-9713 FAX：03-5544-9714
E-mail：cjpf2023@cjma.go.jp

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

②対象事例の募集 ー7、応募結果

◆ 総応募結果が413件 ムービー部門にて289件、プロジェクト部門にて124件の応募を収集することができた。

総応募件数

総応募件数	413件
ムービー部門	289件
プロジェクト部門	124件

テーマごとの件数

当初の予想通り、「食・食文化」「観光」は多いが、一定のテーマに偏らないように注意して案件をリストアップし、直接アワードのご案内をしたことにより、テーマの極端な偏りを避け、幅広いカテゴリーの応募を集めることができた。

	プロジェクト部門	ムービー部門
食・食文化（農林水産・食品・外食）	52	100
観光・交通	64	228
地域等の伝統文化・産業	70	178
コンテンツ	58	51
製品・製造	25	16
デジタル技術	43	19
流通・販売	31	6
サービス	19	16
ファッション・美容	18	11
スポーツ	8	20
アート・デザイン	48	37
その他	18	29
小計	454	711
※複数カテゴリ選択につき重複を含む件数		

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

③審査員の依頼、審査会の実施 ー1、審査員への依頼

- ◆ 知的財産戦略推進事務局により、2部門に対し各6名の審査員が選定された。本業務では、審査員への依頼及び連絡調整と、事務局審査から審査員の書面審査、審査会の実施、受賞事例の選定、贈賞を行った。

ムービー部門 審査員一覧

氏名(敬称略) ※委員長以下、五十音順	所属・役職
辻芳樹(委員長)	学校法人辻料理学館 理事長、辻調理師専門学校 校長
えなこ	コスプレイヤー、クールジャパン広報大使
佐藤一毅	国際オタクイベント協会 代表、Circle.ms代表
ダコスタ・レティシア	Japan Experience株式会社 プロダクト・マネージャー
牧野友衛	一般社団法人メタ観光推進機構 代表理事、日本政府観光局(JNTO)デジタル戦略アドバイザー
渡邊賢一	株式会社XPJP代表 クールジャパン官民連携プラットフォーム ディレクター

プロジェクト部門 審査員一覧

氏名(敬称略) ※委員長以下、五十音順	所属・役職
夏野剛(委員長)	近畿大学 特別招聘教授 情報学研究所長
梅澤高明	A.T. カーニー 日本法人会長、CIC Japan会長
楠本修二郎	カフェ・カンパニー株式会社 代表取締役社長
ローレン・ローズ・コーカー	Vegas PR Group 代表
コチュ・オヤ	株式会社Oyraa 代表取締役社長
山田早輝子	国際ガストロノミー学会日本代表、株式会社FOOD LOSS BANK代表取締役社長

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

③審査員の依頼、審査会の実施 ー2、事務局選考 本年度の審査方針

◆ 適切な審査を行うため、CJPFアワードの開催主旨を考慮し、事務局選考の目線を統一した。

開催主旨

「クールジャパン戦略」の取組として、日本各地域の自然、歴史・伝統から継承される文化・産業（食、伝統芸能、ものづくり、観光など）やコンテンツ（エンターテインメント、漫画、アニメなど）、最先端のデジタル技術を駆使したものまで、日本の魅力をサステナブルなストーリーとして、世界に向けて発信する。

「CJPFアワード2023」
・日本の魅力を海外に伝える「ムービー（動画）」
・日本の新しい価値や魅力を創出し海外に展開する「プロジェクト（事業）」の募集・表彰を通じて、新しいスタイルが広がる世界に向けたクールジャパンの知恵や実績の結集・共有から、クールジャパンの取組が加速されることを目指すと共に、来期以降の「コミュニティ強化」にも繋ぐ場とする。



「ムービー（動画）」部門	「プロジェクト（事業）」部門
日本の魅力をサステナブルなストーリーとして発信できている。	
日本全体や各地域の自然、文化、産業、食・食文化、観光などをストーリーにまとめ上げ、外国人に「日本のことをもっと知りたい」、「その地域に行ってみたい」と思ってもらえる。	事業者の創意工夫や異分野・異業種のマッチング等により、日本の新しい価値や魅力を創出し、海外に展開するプロジェクト（事業）

適切な審査

【工数】

① 審査観点を極力、シンプルにする

【目線の統一】

② 審査員の判断基準のブレを極力なくす

→ “段階評価”（結果を解釈しやすくする）の導入

【型化】

③ 新生CJアワードとしての採点の共通性を持たせる

→ “共通項目”と、“部門別項目”の導入



(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

③審査員の依頼、審査会の実施 ー3、事務局選考 適切な基準作りに向けた基本の骨子

昨年度までの審査基準を再構築し、本年度の審査基準として4象限に分けて審査項目を設定した。

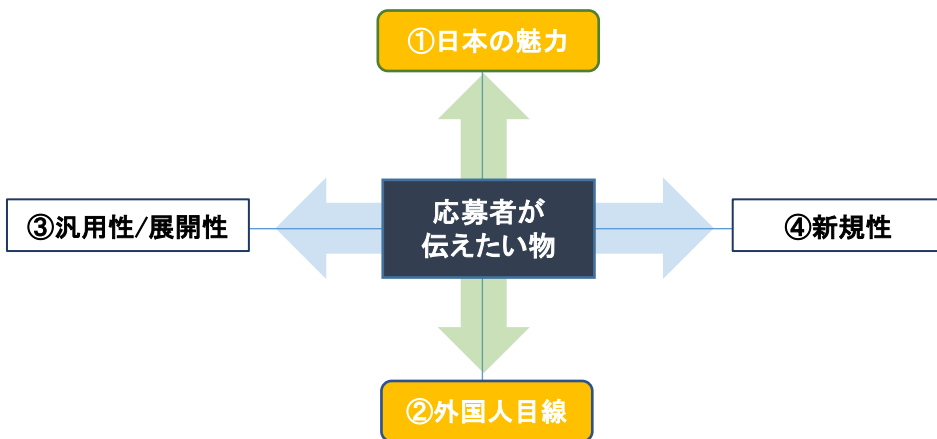
- ◆ Step1: 【縦軸】ムービー(動画)、プロジェクト(事業)、共通する、「日本の魅力」「外国人目線」をCJ要素としての共通軸とした。
【横軸】上記の上で、ムービー(動画)、プロジェクト(事業)の取組の、汎用性・新規性の要素をCJ要素としての共通軸とした。
- ◆ Step2: 上記の上で、ムービー(動画)、プロジェクト(事業)が持つそれぞれの、技術的・事業的要素を部門別の審査とした。

Step1

CJ要素としての審査

ムービー(動画)・プロジェクト(事業マッチング)共通

●縦軸「魅力の訴求観点」、/ 横軸「ビジネス観点」



魅力の訴求

伝えたいものを通じて、
① 日本の魅力が訴求されているか
② 外国人目線で作られているか

ビジネス

他の事業者や地域に対して、
③ 汎用性/展開性があるか
④ 過去にない新規性があるか

Step2

各部門観点での審査

ムービー(動画)・プロジェクト(事業マッチング) 別観点の例

ムービー(動画)ならではの技術的要素

【動画の制作技術】

- 1 (字幕やナレーションの有無ではなく)、編集の手法でよりメッセージが伝わる内容となっているか
- 2 視聴者が次のアクションを起こすきっかけとなるような工夫やストーリーが感じられるか

【動画の企画力】

- ・応募対象物の魅力を伝えるための深さもしくは多角的な工夫がされているか

プロジェクト(事業)ならではの事業的要素

【プロジェクト(事業)の海外実績・影響度】

- 1 世界に伝えて、共感を得た実績があるか
- 2 今後、アウトバウンドやインバウンドの効果が期待できる取組か

【プロジェクトの企画力】

- 1 実施の過程で、その対象物の分野や特性等について掘り下げることができたか、もしくは多角的な工夫がなされていたか
- 2 強味を活かす連携が取れているか。
- 3 新たな価値の創造ができているか。

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

③審査員の依頼、審査会の実施 ー5、審査会の実施

◆ 令和5年1月10日(火)にムービー部門の審査会を実施した。

ムービー部門

■ムービー部門 審査会 出席審査員

辻 芳樹(委員長)	学校法人辻料理学館 理事長 辻調理師専門学校 校長
えなこ	コスプレイヤー クールジャパン広報大使
佐藤 一毅	国際オタクイベント協会 代表 Circle.ms代表
ダコスタ・レティシア	Japan Experience株式会社 プロダクト・マネージャー
牧野 友衛	一般社団法人メタ観光推進機構 代表理事 日本政府観光局(JNTO) デジタル戦略アドバイザー
渡邊 賢一 (オンライン参加)	クールジャパン官民連携プラットフォーム ディレクター



(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

③審査員の依頼、審査会の実施 ー5、審査会の実施

◆ 審査会の結果、グランプリ2件(自治体・一般で各1件)、準グランプリ2件、優秀賞6件を選出した。

ムービー部門

■受賞作品

賞名	応募者属性	ムービー名	応募者名 (企業・団体)
グランプリ1	自治体	BONSAI AZUMA GOYOMATSU	福島市観光交流推進室
グランプリ1	民間	Inspiration and Comfort TIMELESS YUKIGUNI	株式会社N37
準グランプリ2	自治体	Unforgettable Japan, Mie	三重県雇用経済部観光局海外誘客課
準グランプリ2	自治体	うすき美食道	大分県臼杵市役所
優秀賞1	個人	Stones	Tomato Red Motion
優秀賞2	自治体	【祝！世界自然遺産登録決定 奄美大島・徳之島】BREATHTAKING KAGOSHIMA～心奪われる鹿児島～	鹿児島県
優秀賞3	その他の団体	【伝説の銭湯絵師】中島盛夫 Bathhouse murals of Mt. Fuji Morio Nakajima	PLAY TOKYO
優秀賞4	個人	Carrying Traditions, Creating the Future	Osamu Hasegawa
優秀賞5	自治体	「Mochi, a PR video for Ichinoseki City rice cakes」	一関もち食推進会議
優秀賞6	企業	Apex Legends x DRUM TAO 公式コラボPV	株式会社 タオ・エンターテインメント

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

③審査員の依頼、審査会の実施 ー5、審査会の実施

◆ 令和5年1月12日(木)にプロジェクト部門の審査会を実施した。

プロジェクト部門

■プロジェクト部門 審査員

夏野 剛(委員長)	近畿大学 情報学研究所長 特別招聘教授
梅澤 高明	A.T. カーニー 日本法人会長 CIC Japan 会長
楠本 修二郎	カフェ・カンパニー株式会社 代表取締役社長
ローレン・ローズ・コーカー	Vegas PR Group 代表
コチュ・オヤ	株式会社 Oyraa 代表取締役社長
山田 早輝子	国際ガストロノミー学会日本代表 株式会社 FOOD LOSS BANK 代表取締役社長



※楠本審査員はご欠席

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

③審査員の依頼、審査会の実施 ー5、審査会の実施

◆ 審査会の結果、グランプリ1件、準グランプリ1件、優秀賞5件を選出した。

プロジェクト部門

■受賞作品

賞名	プロジェクト名	応募者名 (企業・団体)
グランプリ	サウジアラビア アニメビレッジ プロジェクト	Avex Asia Pte. Ltd.
準グランプリ	EKIBEN ToriMéshi Bento	株式会社花善
優秀賞1	ibisPaint (アイビスペイント)	株式会社アイビス
優秀賞2	オンラインスナック横丁	オンラインスナック横丁文化株式会社
優秀賞3	DASSAI Beyond the Beyond	旭酒造株式会社
優秀賞4	忍道プロジェクト	日本忍者協議会
優秀賞5	沸騰大分	大分県 連携先: 立命館アジア太平洋大学

(1)CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

③審査員の依頼、審査会の実施 ー5、審査会の実施

◆ 内閣官房万博事務局と連携し、2025年の大阪・関西万博に向けた機運の醸成に資する取組みを「大阪・関西万博特別賞」に選定した。

大阪・関西万博特別賞

■プロジェクト部門 審査員

齋藤 精一	パノラマティクス主宰 EXPO共創プログラムディレクター
楠本 淳	公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 広報・プロモーションディレクター
井上 学	内閣官房国際博覧会推進本部事務局 次長
堺井 啓公	公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 機運醸成局長

■受賞作品

部門	No.	プロジェクト名	応募者名 (企業・団体)
ムービー部門	114	Let's share the excitement of foreigners after completing the Shikoku Pilgrimage! 四国遍路の外国人の感動をあなたに！	片岡秀子
プロジェクト部門	51	「循環型未来共創プロジェクト」	株式会社キュアテックス

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

④表彰式開催の告知 ー1、表彰式の準備

- ◆ 表彰式を2023年3月9日に収録を実施し、後日youtubeにて配信を実施した。

名称	CJPF AWARD 表彰式
収録日程	2023年 3月 9日(木)12:40~17:00
プログラム	プロジェクト部門表彰(グランプリ:1件、準グランプリ:1件、優秀賞:5件) ムービー部門表彰(グランプリ:2件、準グランプリ:2件、優秀賞:6件) 万博特別部門表彰(プロジェクト部門1件、ムービー部門1件)
会場	グラントウキョウサウスタワー 33F リクルート内スタジオ
主催	クールジャパン官民連携プラットフォーム
後援	独立行政法人日本貿易振興機構 特定非営利活動法人映像産業振興機構 日本商工会議所 東京商工会議所 株式会社海外需要開拓支援機構 一般社団法人日本旅行業協会
事務局	内閣府知的財産戦略推進事務局
開催形式	全編撮影収録し、後日youtubeにて配信

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

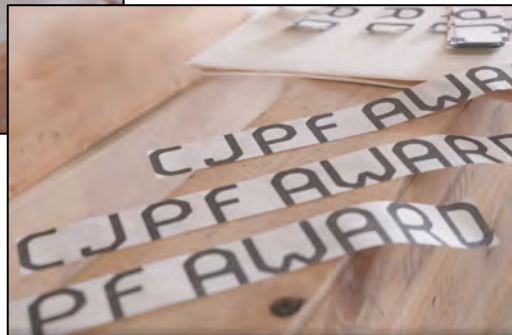
④表彰式開催の告知 ー1、表彰式の準備

- ◆ CJPF AWARDで贈呈する表彰状は、2020年・オリンピック・「TOKYO2020」でも採用された、“美濃手すき和紙”で制作。CJPF AWARD向けに、岐阜県美濃市の美濃竹紙工房様で制作。また、授与品として、表紙に国産間伐材のヒノキの木と、中紙に再生紙を再利用し、自然環境に配慮して作られた「CJPFノート」を用意した

表彰状



CJPFノート



(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

④表彰式開催の告知 ー2、表彰式開催の告知

- ◆ 2023年3月1日(水)、CJPF AWARD開催のプレスリリースを PR timesのメディア向けにリリースを実施した。

PRESS RELEASE

内閣府知的財産戦略推進事務局

報道関係各位

令和5年3月9日(木) “日本の魅力を発信するクールジャパンの取組”を募集する「CJPFアワード2023」表彰式を開催します。

※今年度は旧「クールジャパン動画コンテスト」「クールジャパン・マッチングアワード」を統合したアワードを開催し、「ムービー(動画)部門」「プロジェクト(事業)部門」でグランプリを選出・表彰します。

内閣府 知的財産戦略推進事務局では「クールジャパン戦略」の一環として、日本各地域の自然・歴史・伝統から継承される文化・産業(食・伝統芸能・ものづくり・観光など)やコンテンツ(エンターテインメント・漫画・アニメなど)、最先端のデジタル技術を駆使したもので、日本の魅力をサステナブルなストーリーとして世界に発信する取組の後押しをしています。

来る3月9日(木)、令和4年10月～11月に募集した「CJPFアワード2023」(日本の魅力を海外に伝える「ムービー(動画)」と日本の新しい価値や魅力を創出し海外に展開する「プロジェクト(事業)」)のアワード受賞者を発表し、表彰式を開催いたします。

<CJPFアワード2023募集サイト>
<https://cjpf.jp/award/>
<CJPFアワード2023表彰式サイト>
3月9日(木)表彰式後、同日に公開予定

- 「CJPFアワード2023」受賞者表彰式



■開催日時
令和5年3月9日(木) 12時40分～17時00分

■開催場所
東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー 株式会社リクルート内 スタジオ
JR東京駅 八重洲南口から徒歩1分 / 東京メトロ銀座線京橋駅から徒歩4分

■実施概要
「CJPFアワード2023」

日本各地域の自然・歴史・伝統から継承される文化・産業(食・伝統芸能・ものづくり・観光など)やコンテンツ(エンターテインメント・漫画・アニメなど)、最先端のデジタル技術を駆使したもので、日本の魅力をサステナブルなストーリーとして魅力を掘り下げ、世界に伝え、「共感」を得、新しいスタイルのアウトバウンド・インバウンドを築める取組を令和4年10月3日(月)から11月11日(金)まで募集しました。

応募の中から、「クールジャパン戦略」の取組としてふさわしい動画や事業を審査会にて選考し、3月9日(木)アワード受賞者を発表する。表彰式・受賞者案件紹介を開催します。

①『ムービー(動画)部門』 一地域の自然、文化、産業、食・食文化、観光等をストーリーにまとめ上げて日本の魅力を海外に伝えるムービー(動画)


②『プロジェクト(事業)部門』 一事業者の創意工夫や異分野・異業種のマッチング等によって日本の新しい価値や魅力を創出し、海外に展開するプロジェクト(事業)

※大阪・関西万博特別賞 → 2025年大阪・関西万博を見据え、内閣府国際博覧会推進本部事務局と連携し、大阪・関西万博特別賞を設置し、同日・同時間内に大阪・関西万博特別賞(「ムービー(動画)部門」・「プロジェクト(事業)部門」)受賞の発表、贈賞も行います。

■表彰式の進行時間
12:40～13:10 大阪・関西万博特別賞(「ムービー(動画)部門」・「プロジェクト(事業)部門」)受賞発表、贈賞、受賞者・審査員コメント
13:10～13:30 休憩
13:30～14:07 「ムービー(動画)部門」受賞発表、贈賞、受賞者・審査員コメント
14:25～15:15 「ムービー(動画)部門」審査員ディスカッションCJPF LIVE
15:15～15:30 休憩
15:30～15:58 「プロジェクト(事業)部門」受賞発表、贈賞、受賞者・審査員コメント
15:58～16:10 休憩
16:10～17:00 「プロジェクト(事業)部門」審査員ディスカッションCJPF LIVE

■審査員

①『ムービー(動画)部門』
クールジャパン 官民連携プラットフォーム 共同会長
審査員長 辻 芳樹(学校法人辻料理学院 辻調理師専門学校 理事長・校長)



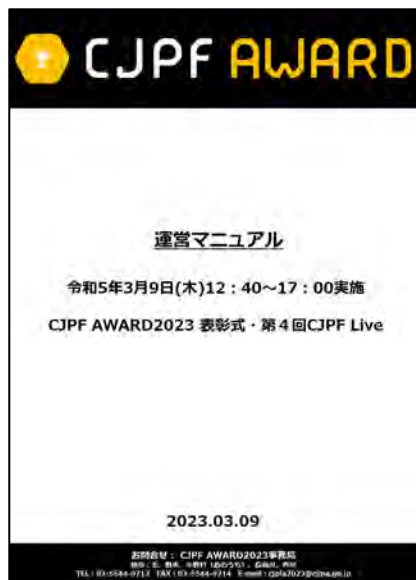
審査員
えなこ(コスプレイヤー/クールジャパン広報大使)
佐藤一哉(国際オタクイベント協会代表/Circle.ms(サークルドットエムエス)代表)
ダコスタ・レディシア(Japan Experience株式会社プロダクト・マネージャー)
牧野 友樹(一般社団法人メタ観光推進機構 代表理事/日本政府観光局(JNTO) デジタル戦略アドバイザー)
渡邊 賢一(株式会社 XPIJ代表/クールジャパン官民連携プラットフォーム ディレクター)

②『プロジェクト(事業)部門』
クールジャパン 官民連携プラットフォーム 共同会長
審査員長 夏野剛(近畿大学 情報学研究科 特別招聘教授)

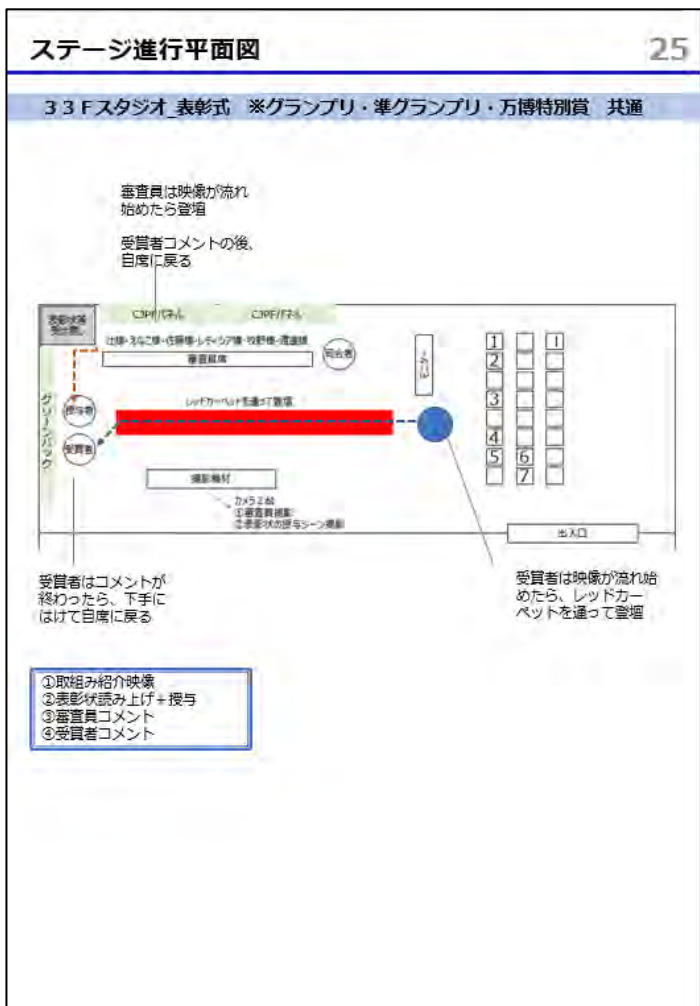
(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

⑤表彰式の実施 - 1、運営マニュアル

- ◆ CJPF AWARD本番に向けて、運営マニュアルを作成。事前に運営確認のミーティングを実施した。



時刻	33F スタジオ	33F スタジオ前室 (設備利用)	23F 交流会場	23F 控室	2F エントランス
前日 1 時間	搬入・HS調整、R野木、機材セッティング・HG調整				
8:00 1 時間	会場設置、R野木、機材、音響機材、パベルディ調整、北	会場設置、R野木、機材	会場設置、R野木、音響、金		
10:00 1 時間	・テクニカルリハ：HS調整、スタッフリハ：HS調整、R野木、北、機材、司会者（中村） ・3Fの9機確認：HS調整				・入場受付、R野木 ・立席受付、R野木
11:00 1 時間	・受付開始（コロナ対策用品配布）、配布資料準備：R野木、北 ・飲み物受取：R野木	・大田道雄確認：R野木、機材、機材、上田、R ・受付準備：R野木、音響、機材（事務センター） ・ミヤクミヤク確認：R野木	・ミヤクミヤク搬入：万、機材、上田、R ・受付準備：R野木、音響、機材（事務センター） ・ミヤクミヤク確認：R野木	・11:30 立席受付、入場受付 会場案内：R野木	
12:00	・受付開始、資料配布、機材、R野木 ・飲み物、名札、アクリル板準備：R野木 ・乗降対応：知・中田、H野木、長谷川、R野木、北	・飲み物受取（R野木、北、中田、H野木、長谷川、R野木、北） ・R野木、音響	・飲み物受取（R野木、北、中田、H野木、長谷川、R野木、北） ・R野木、音響		
12:20 20分	・万博賞 流し確認：HS調整、R野木 ・カメラマンリハ合わせ：R野木		・12:20 万博賞受賞者控室（23F）へ案内：H野木、R野木 ・控室で受賞者にレク：R野木 ・ミヤクミヤク33F移動：R野木		
12:40	万博賞 表彰式・プレゼン ・機材、HS調整 ・受賞者（乗降）サポート：R野木、機材、R野木、北	・記者スタンバイ			
13:07 23分	・セット変更：R野木、米澤 ・受け確認：HS調整、R野木 ・23Fに到着する受賞者（乗降）サポート：R野木、機材、R野木、北 ・13:15 万博賞 授賞式、知・中田、H野木、長谷川、R野木	・記者対応、受賞者案内：知・北、H野木、長谷川、R野木、北	・受付開始、配布資料準備：R野木、音響		
13:30 42分	ムービー部門 表彰式 ・機材、HS調整 ・受賞者（乗降）サポート：R野木、機材、R野木、北 ・13:35 万博賞 授賞式、知・中田、H野木、長谷川、R野木	・記者スタンバイ	・コピー室：R野木 ・受付開始、資料、名札、機材：R野木、音響 ※機材は管理室のみ		
14:00	・コピー受取：R野木 ・司会中村→23F控室で休憩	・記者対応、受賞者案内：知・北、H野木、長谷川、R野木、北	万博 交流会 14:00-14:30 受賞者：キョウテックス様、片岡氏 万博・機材、上田 R野木、音響 プロジェクト部門 交流会 14:30-15:00 受賞者：花井様（Aoyama） 知・北、中田、H野木、長谷川、R野木、北 R野木、音響	・プロジェクト部門受賞者を受賞会場へ案内：H野木、R野木、北 ・ミヤクミヤク：交流会場へ移動	・主催の調整、機材
14:12 13分	・セット変更：R野木、米澤 ・フリック、ペンの用意：米澤				
14:25 50分	ムービー部門 Live ・機材、HS調整 ・受賞者（乗降）サポート：R野木、機材、R野木、北 ・14:35 万博賞 授賞式、知・中田、H野木、長谷川、R野木	・記者スタンバイ			
15:15 15分	・セット変更：R野木、米澤 ・プロジェクト部門 授賞式、HS調整、R野木	・記者対応、受賞者案内：知・北、H野木、長谷川、R野木、北	・飲み物受取、資料、機材、機材、上田、R ・受付準備：R野木、音響、機材（事務センター） ・ミヤクミヤク：交流会場へ移動		
15:30 28分	プロジェクト部門 表彰式 ・機材、HS調整 ・受賞者（乗降）サポート：R野木、機材、R野木、北 ・15:35 万博賞 授賞式、知・中田、H野木、長谷川、R野木	・記者スタンバイ			
15:58 12分	・セット変更：R野木、米澤 ・フリック、ペンの用意：米澤	・記者対応、受賞者案内：知・北、H野木、長谷川、R野木、北		・ミヤクミヤク搬出：万、機材、上田、R野木	
16:10 50分	プロジェクト部門 Live ・機材、HS調整 ・受賞者（乗降）サポート：R野木、機材、R野木、北 ・16:15 万博賞 授賞式、知・中田、H野木、長谷川、R野木				
17:00			退出案内、お見送り・撤収		



(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

⑤表彰式の実施 -2、進行台本

- ◆ 進行台本をし、出演者、司会者と認識を合わせ本番に臨んだ。

2023.02.20 v1



CJPF AWARD

表彰式

進行台本

日 程：令和5年3月9日(木)12:40~17:00

会 場：グラントウキョウサウスター(東京都千代田区丸の内1-9-2)

主 催：クールジャパン官民連携プラットフォーム
(内閣府知的財産戦略推進事務局)

CJPF AWARD2023事務局

TIME	LAP	STAGE	CONTENTS	Screen	Camera
		●司会者 MC 谷川	※関係者専用席		
			CJPF AWARDオープニングVTR		
13:30	2'00"		<p>【MCコメント】 みなさまこんにちは。 ではいよいよ「CJPF AWARD2023」表彰式を開催いたします。</p> <p>本日の前会進行を務めさせていただきます。 私、中村有希子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>「CJPF AWARD2023」は、 昨年度までは「クールジャパン・マッチングアワード」「クールジャパン動画コンテスト」として実施してまいりましたが、本年より2つのコンテストを統合し、「CJPF AWARD」として開催しております。</p> <p>日本の魅力を海外に伝える「ムービー部門」、 日本の新しい価値や魅力を顕出し、海外に発信する「プロジェクト部門」にて 数回を募集し、合計400件を超える応募の中から、審査会にて選出された 「グランプリ」「最優秀賞」「優秀賞」「大賞」「奨励賞」を 表彰させていただきます。</p> <p>また、本日の表彰式は、十分な感染対策のもとで開催しております。</p> <p>「クールジャパン官民連携プラットフォーム」は、 クールジャパン戦略を推進するために、平成27年12月に設立され、現在17の関係 府省・関係機関、145の民間団体、民間企業・個人が参加しています。</p> <p>共同会長として、 クールジャパン戦略担当大臣 岡田 豊明(おきた ぬおき) 学校法人正科理学院(正科理学院専門学校 理事長・校長 辻 秀樹(つじ ひでお)) 公益法人 特別顧問 情報科学研究会 岡野 昭(おの のりあき) の3名が就任しています。</p>	タイトル	カメラ

進行スケジュール

TIME	LAP	STAGE	CONTENTS	Screen	Camera
13:30	2'00"		CJPF AWARDオープニングVTR		
13:32	2'02"		【MCコメント】 みなさまこんにちは。 ではいよいよ「CJPF AWARD2023」表彰式を開催いたします。		
13:34	2'04"		本日の前会進行を務めさせていただきます。 私、中村有希子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。		
13:36	2'06"		「CJPF AWARD2023」は、 昨年度までは「クールジャパン・マッチングアワード」「クールジャパン動画コンテスト」として実施してまいりましたが、本年より2つのコンテストを統合し、「CJPF AWARD」として開催しております。		
13:38	2'08"		日本の魅力を海外に伝える「ムービー部門」、 日本の新しい価値や魅力を顕出し、海外に発信する「プロジェクト部門」にて 数回を募集し、合計400件を超える応募の中から、審査会にて選出された 「グランプリ」「最優秀賞」「優秀賞」「大賞」「奨励賞」を 表彰させていただきます。		
13:40	2'10"		また、本日の表彰式は、十分な感染対策のもとで開催しております。		
13:42	2'12"		「クールジャパン官民連携プラットフォーム」は、 クールジャパン戦略を推進するために、平成27年12月に設立され、現在17の関係 府省・関係機関、145の民間団体、民間企業・個人が参加しています。		
13:44	2'14"		共同会長として、 クールジャパン戦略担当大臣 岡田 豊明(おきた ぬおき) 学校法人正科理学院(正科理学院専門学校 理事長・校長 辻 秀樹(つじ ひでお)) 公益法人 特別顧問 情報科学研究会 岡野 昭(おの のりあき) の3名が就任しています。		

TIME	LAP	STAGE	CONTENTS	Screen	Camera
			グランプリ1		
13:58	3'00"		<p>それでは、いよいよ、グランプリの発表です。 今回は【自治体部門】1～前席門1から1名、合計2名の方が受賞されています。</p> <p>それでは参りますよう。 「CJPF AWARD2023 グランプリ」自治体部門 受賞者の発表です。</p> <p>●デジタル映像・装置芸術部門 上席 タイトル：BONSAI AZUMA GOYOMATSU 受賞者：福島市観光交流推進課</p> <p>紹介文 30秒 (150文字) 福島市の自然と文化に由来する自衛隊五軍団と、その精神から生まれた芸術を掲げ 下関に拠点を移し、新しい取組条件の中でたくましく生きる自衛隊五軍団という自然 と「文化」という世界で日本人の強い文化に誇りを感じ、現代社会に貢献して いる。</p> <p>※動画終了後 受賞者は、 福島市観光交流推進課 〇〇〇様です。 おめでとうございます。</p>	カメラ	カメラ

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

⑤表彰式の実施 ー3、記録写真

- ◆ ムービー部門受賞者と審査員の記念撮影を実施。

賞名	ムービー名	応募者名 (企業・団体)	記念写真	賞名	ムービー名	応募者名 (企業・団体)	記念写真
グランプリ	BONSAI AZUMA GOYOMATSU	福島市		準グランプリ	うすき美食道	大分県臼杵市	
グランプリ	Inspiration and Comfort TIMELESS YUKIGUNI	株式会社N37		準グランプリ	Unforgettable Japan, Mie	三重県 雇用経済部	ご都合により退席



(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

⑤表彰式の実施 ー3、記録写真

- ◆ プロジェクト部門受賞者と審査員の記念撮影を実施。



賞名	プロジェクト名	応募者名 (企業・団体)	記念写真
グランプリ	サウジアラビア アニメビレッジ プロジェクト	Avex Asia Pte. Ltd.	
準グランプリ	EKIBEN ToriMéshi Bento	株式会社花善	



(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

⑤表彰式の実施 ー3、記録写真

- ◆ 万博特別賞受賞者と審査員の記念撮影を実施。

部門	プロジェクト名	応募者名 (企業・団体)	記念写真
ムービー部門	Let's share the excitement of foreigners after completing the Shikoku Pilgrimage! 四国遍路の外国人の感動をあなたに！	片岡秀子	
プロジェクト部門	「循環型未来共創プロジェクト」	株式会社キュアテックス	

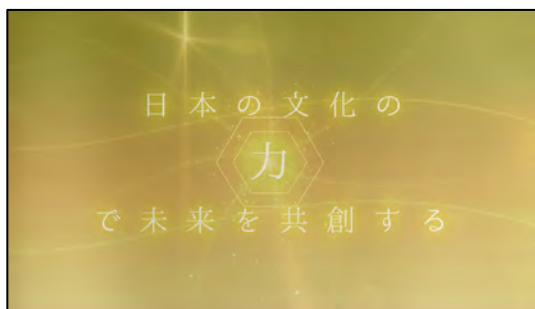


(1)CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

⑤表彰式の実施 ー4、映像の活用

- ◆ 表彰式にはオープニングVTR、タイトルアタックを用意し、特別感を演出した。また映像の活用によりメリハリがつき、視聴者が飽きないようにした。
- ◆ 受賞作品の紹介は、各案件ごとに映像を活用し、短い時間で完結に受賞作品の紹介や受賞者コメントを発表した。

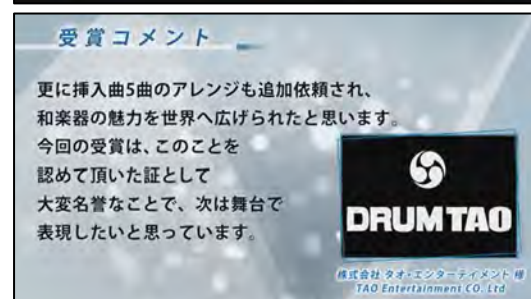
オープニングVTR



タイトルアタック



受賞作品紹介



(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

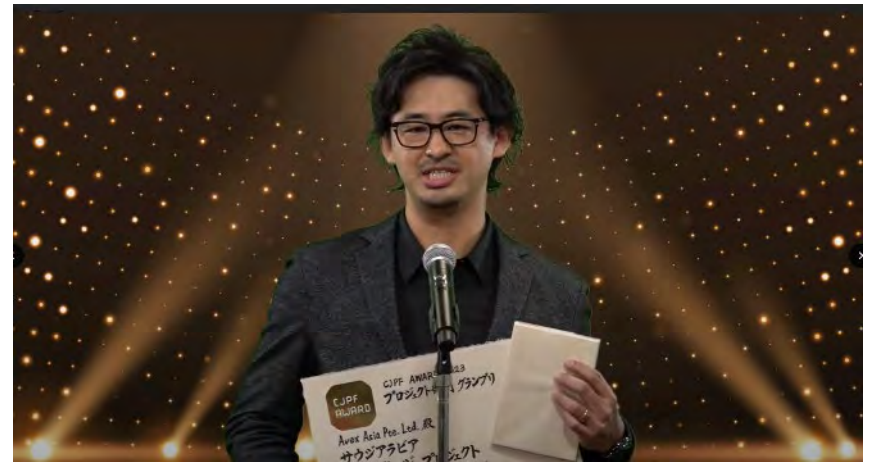
⑤表彰式の実施 ー5、収録による表彰式開催

- ◆ クロマキー合成を実施。グリーンバックで撮影した映像データに背景画像を加工して、特別感を醸成した。

撮影



配信



(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

⑤表彰式の実施 —6、交流会の実施

- ◆ 受賞者、審査員の交流会を実施。活発なコミュニケーションが行われ、参加者の満足度向上に寄与できた。
- ◆ ミャクミャクが参加したことで、場が和み、コミュニケーションを取りやすい雰囲気を醸成できた。



(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

⑥受賞者発表の広報 -1、実施した広報活動

- ◆ CJPF AWARDのプレスリリース配信及び、広報用パンフレットを作成配布し、CJPF AWARDの広報活動を実施した。

PR times



Webサイト



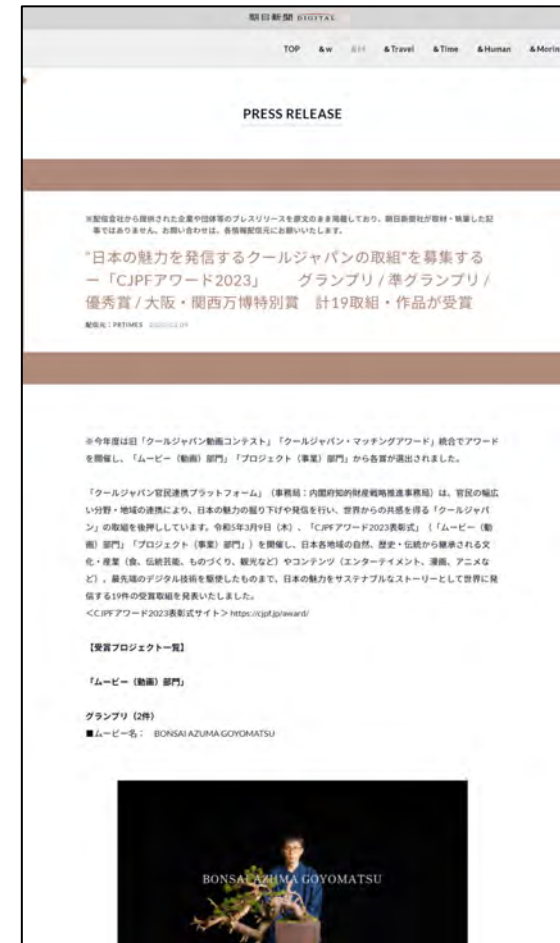
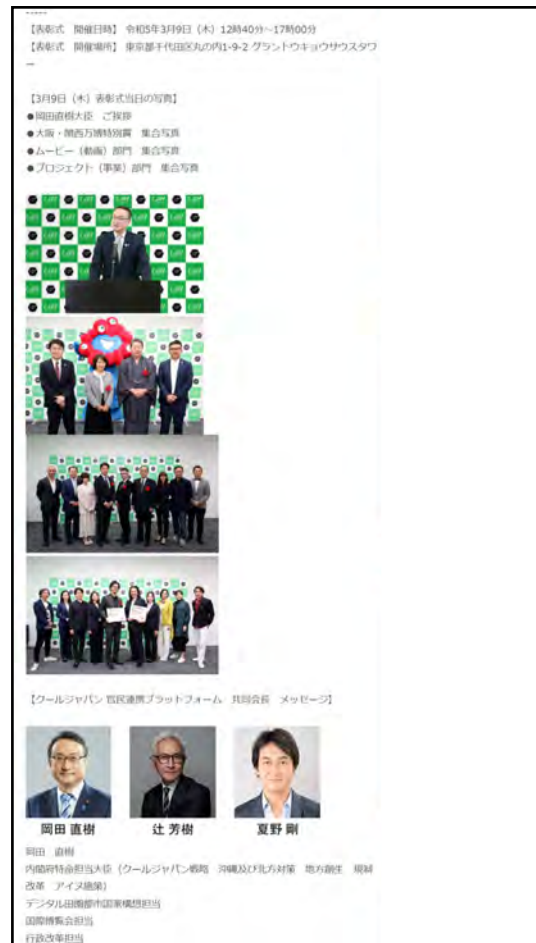
広報用パンフレット



(1)CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

⑥受賞者発表の広報 -2、報道結果

- ◆ 3/9(木)17:00に配信したPRタイムズのプレスリリースの転載は、オリコンニュース、朝日新聞デジタルマガジン&[and]など、31件となった。



(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

⑥受賞者発表の広報 ー2、報道結果

◆ PRタイムズのプレスリリースの転載先は以下の通り。

No	メディア	企業名	URL
1	RBBTODAY	株式会社イード	https://www.rbbtoday.com/release/prtimes2-today/20230310/839280.html
2	SEOTOOLS	ブラストホールディングス株式会社	http://www.seotools.jp/news/id_000000003.000109609.html
3	とれまがニュース	株式会社サイトスコープ	https://news.toremaga.com/release/others/2586377.html
4	CNET JAPAN(シーネットジャパン)	朝日インタラクティブ株式会社	https://japan.cnet.com/release/30836619/
5	ジョルダンニュース!	ジョルダン株式会社	https://news.jordan.co.jp/docs/news/detail.cgi?newsid=PT0000003A000109609
6	ORICON NEWS(オリコンニュース)	オリコン株式会社	https://www.oricon.co.jp/pressrelease/1469340/
7	Techable(テッカブル)	株式会社PR TIMES	https://techable.jp/archives/000000003.000109609
8	All About NEWS	株式会社オールアバウト	https://news.allabout.co.jp/articles/p/000000003.000109609/
9	PRESIDENT Online(プレジデントオンライン)	株式会社プレジデント社	https://president.jp/ud/pressrelease/640a8540760b069b28000016
10	Fresh eye ニュース	株式会社スカラコミュニケーションズ	https://news.fresheye.com/prtimes/article/pr-000000003.000109609.html
11	ニコニコニュース	株式会社ドワンゴ	https://news.nicovideo.jp/watch/nw12238004
12	STRAIGHT PRESS(ストレートプレス)	株式会社PR TIMES	https://straightpress.jp/company_news/detail?pr=000000003.000109609
13	JBpress(ジェイビープレス)	株式会社日本ビジネスプレス	https://jbpress.ismedia.jp/ud/pressrelease/640a853b760b0680a2000016
14	東洋経済オンライン	株式会社東洋経済新報社	https://toyokeizai.net/ud/pressrelease/640a89f5760b06737c000052
15	@DIME(アットダイム)	株式会社小学館	https://dime.jp/company_news/detail/?pr=1384616
16	BIGLOBEニュース	ビッグロブ株式会社	https://news.biglobe.ne.jp/economy/0310/prt_230310_6664372165.html
17	産経ニュース	株式会社産業経済新聞社	https://www.sankei.com/pressrelease/prtimes/G5YVXQXZBFNLXHNK6QP7L2QNCM/
18	iza(イザ!)	株式会社産業経済新聞社	https://www.iza.ne.jp/pressrelease/prtimes/G5YVXQXZBFNLXHNK6QP7L2QNCM/
19	朝日新聞デジタルマガジン&[and]	株式会社朝日新聞社	https://www.asahi.com/and/pressrelease/423627483/
20	マピオンニュース	株式会社ONE COMPATH	https://www.mapion.co.jp/news/release/000000003.000109609/
21	現代ビジネス	株式会社講談社	https://gendai.media/ud/pressrelease/640a8a1d760b064a3900005f
22	Web担当者Forum	株式会社インプレス	https://webtan.impress.co.jp/r/prtimes/items/000000003.000109609
23	@niftyビジネス	ニフティ株式会社	https://business.nifty.com/cs/catalog/business_release/catalog_prt000000003000109609_1.htm
24	時事ドットコム	株式会社時事通信社	https://www.jiji.com/jc/article?k=000000003.000109609&g=prt
25	ZDNet Japan	朝日インタラクティブ株式会社	https://japan.zdnet.com/release/30836619/
26	Infoseek ニュース(インフォseekニュース)	楽天グループ株式会社	https://news.infoseek.co.jp/article/prtimes_000000003_000109609/
27	エキサイトニュース	エキサイト株式会社	https://www.excite.co.jp/news/article/Prtimes_2023-03-10-109609-3/
28	BEST TIMES(ベストタイムズ)	株式会社ベストセラーズ	https://www.kk-best-sellers.com/articles/-/press_release/1883310/
29	NewsCafe(ニュースカフェ)	株式会社イード	https://www.newscafe.ne.jp/release/prtimes2/20230310/1273986.html
30	ウレぴあ総研	ぴあ株式会社	https://ure.pia.co.jp/articles/-/1764671
31	BtoBプラットフォーム 業界チャンネル	株式会社インフォマート	https://b2b-ch.infomart.co.jp/news/detail.page?IMNEWS4=3864802

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

⑥受賞者発表の広報－2、報道結果

◆ 受賞者によるリリースは8件となった。

部門	受賞者（一部、協力企業）	取組名・作品名	記事タイトル
プロジェクト部門	Avex Asia Pte. Ltd.	サウジアラビア アニメレレッジプロジェクト	エイベックス、サウジアラビアでプロデュースした「アニメレレッジ」がクールジャパンの取組を表彰する「CJPFアワード2023」でグランプリを受賞
プロジェクト部門	株式会社アイビス	ibisPaint（アイビスペイント）	モバイルペイントアプリ「ibisPaint」、内閣府CJPFアワード2023にて優秀賞を受賞
プロジェクト部門	オンラインスナック横丁文化株式会社	オンラインスナック横丁	オンラインスナック横丁「内閣府 CJPFアワード2023」にて優秀賞受賞！
プロジェクト部門	日本忍者協議会	忍道プロジェクト	CJPFアワード2023「プロジェクト（事業）部門」にて、「忍道プロジェクト」が優秀賞を受賞
ムービー部門	Tokyo Creative株式会社	BONSAI AZUMA GOYOMATSU	日本人と外国人の「両目線」でインバウンド集客を支援するTokyo Creative企画・監修の福島市プロモーション動画、『クールジャパン・プラットフォームアワード2023』ムービー部門グランプリ受賞！
ムービー部門	三重県	Unforgettable Japan, Mie	三重県が制作した観光PR動画がクールジャパン・プラットフォームアワード2023ムービー部門で準グランプリを受賞しました
ムービー部門	大分県臼杵市	うすき美食道	臼杵観光PR動画（うすき美食道）がCJPFアワード2023で準グランプリを受賞！
ムービー部門	株式会社 タオ・エンターテインメント	Apex Legends x DRUM TAO 公式コラボPV	ApexとのコラボPVが『クールジャパン・プラットフォームアワード 2023』優秀賞を受賞しました！



(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

CJPF ライブ

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

①CJPFの活性化を目的とした官民共創プログラムの創出 ―「CJPFライブ」

- ◆ 未来のクールジャパン戦略を、CJ関係者と共創して考える 収録型のイベント「CJPFライブ」を新設し運営を実施した。
- ◆ 「CJPFライブ」を通じて、国内のCJ関係者と外国人有識者が国境を超えて未来を共創できる場を設計した。

デジタル社会の進展に伴い、新しい視点でのコミュニティの重要性が増しています。令和4年度のCJPFの活性化を目的とした官民共創プログラムとして、新たな企画「CJPFライブ」を新設した。

「CJPFライブ」では共創型プラットフォームとしての役割強化を目的とし、国内外のCJ有識者同士がオンライン上で国内/ 海外の職人、地域から世界への魅力発信、ラグジュアリーツーリズム、CJPF AWARD 2023をテーマとしたライブ・ダイアログを実施し、今後のCJPFの共創力を高めるきっかけを創出した。

パネルディスカッションの様子を収録し、Youtubeにて配信



令和4年度は4つのテーマを予定 ※P51記載

CJPF会員

司会



収録撮影



テーマ毎にゲストを招待



- ・事例登壇者(ゲスト)
- ・専門家
- ・集客力がありアイコンとなるCJプロデューサー



調査サイト「cjpgf.jp」への
新設ページとして設置し、
YouTubeでも配信。



テーマの事例にまつわる映像や写真画像を
準備します。生配信後は調査サイト
「cjpgf.jp」からも視聴できるように配置。



(画像省略)

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

①CJPFの活性化を目的とした官民共創プログラムの創出 ―「CJPFライブ」 全4回のテーマ

全4回に渡り、クールジャパン戦略において重要な「食・食文化」の可能性について、地域の共創事例を取り上げながら、事業者とともに取組み内容を深掘り、成功要因や、未来に向けた展望についてディスカッションを行いました。ライブは収録形式で実施し、編集後のデータをYoutubeで公開しました。

第1回：東京



2022年9月1日収録

国内/ 海外の職人

ブランド化・プロモーション

テーマ

海外・日本の職人の視点から発見する、「日本の食・食文化」と、未来の共創事業の可能性

第2回：広島



2022年11月10日収録

地域食材

仕組み・発信

テーマ

地域に根ざした食材・事業を通じた、地域の魅力発信 ～事業運営を通じて、日本の魅力の海外発信・仕組みづくり～

第3回：栃木



2022年12月10日収録

ラグジュアリー

ガストロノミー

テーマ

地域発のラグジュアリー観光を通じた魅力発信
～日本らしいラグジュアリーのあり方と、ガストロノミーツーリズムによる地域の魅力創出～

第4回：東京



2023年3月9日開催

日本の文化

情報編集・発信

テーマ

CJPF AWARDの審査員・受賞者と共に考える
クールジャパン施策の未来

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

(画像省略)

②第1回CJPFライブ ー1、企画概要

テーマ

国内/海外の職人

ブランド化・プロモーション

海外・日本の職人の視点から発見する、「日本の食・食文化の魅力」と、大阪万博、海外プロモーションに向けた共創の可能性。

日時
場所

2022年9月1日(木) 13-14時の開始 途中休憩10分 (仮 最大16時終了予定)
会場: JR東京駅、東京メトロ銀座線(株式会社リクルート 24階スタジオ)

概要

お酒、フルーツ、魚、肉、米、・・・天ぷら、寿司、お好み焼き、蕎麦など
日本には、魅力的な日本独自の「食材、料理、食文化」がたくさんあります。
そして日本人のみならず海外でも、日本の食・食文化を日本国内/海外で独自の目線で 第一線で活用、発信する活躍者がいます。
第1回目は「日本の食・食文化」を第一線で日本国内、海外に広める活動をしている“外国人・日本の職人”に焦点を当て、彼らの実際のプロジェクトストーリーを紐解きながら、日本の食・食文化の魅力の本質を探ります。
また、3年後の大阪万博や、また海外で開催される見本市に向け、日本の食・食文化を、職人の視点からどのようにプロモーション、ブランド化できるかをディスカッションし、事業共創化できる可能性を探ります。

◆プロローグ:
クールジャパンの食・食文化の目的・ゴールについて改めて理解を揃えます。(昨年度、辻さん動画を拝聴し、モデレーターから説明を実施。)

◆第一章:
日本・海外で日本の食・食文化を扱ったり、広めているゲストが現在取り組んでいることの紹介と共に、何故、彼らは日本の食材に魅了されたのか、「日本の食・食文化」の活動に携わってきた上で、苦労したこと、“料理や商品開発における発見”などを活動のエピソードを聞きながらインタビューします。

◆第二章:
2025年大阪万博/海外の食の見本市等 に向けて、ゲスト(造り手)皆の知恵を結集し、どんな日本食のグローバル展開、プロモーション、ブランド化ができるか、今後牽引者として期待したいゲストと共創できる日本の食・食文化のグローバル展開の具体アイデアを、職人目線からディスカッションします。

ゴール

これから日本が世界に向けて活動するためのヒント(新たな食の調理開発、プロモーション・ブランド化の方法、食をキーワードとした活動等)を得ると共に、ゲストと共に日本の食文化の魅力を海外に波及できる事業共創を見つけ、令和5年度の施策提言に繋げることを目標とします。

想定
視聴者

- ・自社の食材を、海外、外国人に向けてPRしたい事業者
- ・海外へ輸出をしたい事業者
- ・日本食に関する商社や投資会社等のメーカー

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

②第1回CJPFライブ ー2、登壇者

進行



モデレーター：
渡邊賢一氏



インタビューアー：
夏野剛氏

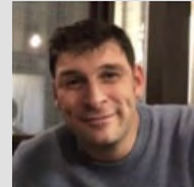
ゲスト

- ・日本の食・食文化を、外国に持っていく挑戦している職人
- ・日本の食・食文化を取り入れている外国人職人

ゲスト(海外)



**ジャパンエクスペリエンス エクスペリエンスデザイナー
ダコスタ・レティシア氏**
フランスパリ郊外出身。東京で、広告制作会社、アートキュレーション、翻訳・通訳の分野で勤めた後、2011年6月フランスに本社を持つ旅行代理店Japan Experience に入社。プロダクト・マネージャとして従事中。



Sea Tech Trading 代表取締役 ニモ・グラスマン氏
アメリカ出身。フードテック、魚の輸出、水産業を通じた地域活性化を展開。米国IT企業(Google)の社食開発なども手掛ける。また、国内水産事業者や水産庁は3年間、連携を行いフィッシュ・ブランディング事業のプロデューサー等を担当。



Barillaマーケティング&TVシェフ アレッサンドロ・コビエッロ氏
イタリア出身。食品のマーケティングや輸出入の仕事を行う傍ら、シェフとしてテレビやYouTubeで活躍。テレビ朝日:世界が驚いたニッポン!スゴ〜イデスネ!!視察団に料理研究家として出演。他、FOODEX日本、ELLE GOURMETなど国際展示会にも複数回出場。現在本業に加え八丈島の地域の食材を活かした日本×イタリアンの食のマリアージュメニューを多数開発。



鶴岡市観光協会 地域プロデューサー サラ・ミヨ氏
フランス・スクラン市出身。トゥールーズ大日本学科卒業後、早稲田大学留学。トゥールーズ大学院を経て、再来日。鶴岡市でインバウンド観光事業、外国語刊行物の編集・翻訳・監修などを担当後、2020年より(一社)DEGAM鶴岡ツーリズムビューロー事業課係長として旅行商品の開発、観光情報提供などを行っている。

ゲスト(日本事業者)・CJプロデューサー



ONODERA GROUP エグゼクティブシェフ / 一般社団法人 J Vegan 協会理事 杉浦仁志氏
2009年に渡米。全米で約50店舗を展開するパティナ・レストラン・グループの創業者に師事、LA・NYのミシュラン星つきレストランで技術を習得。現在はONODERA GROUP エグゼクティブシェフとして、食を通じて異文化理解や健康、地球環境問題にアプローチするソーシャル フード ガストロノミーを提唱し、さらに活躍の舞台を広げている。



CJプロデューサー てんぷら小野 代表 志村幸一郎氏
世界を舞台に‘心’のてんぷらを揚げる取り組みを料理人として活動する一方で山形県や北海道などに赴き生産者との繋がりを深めている。日本食文化への深い理解から、早稲田、国際基督教大学などでの講義やワールドクルーズ船の日本料理総監修担当など多彩な活動を行う。2016年には首相官邸より内閣府知的財産戦略推進事務局のクールジャパン・地域プロデューサーに任命。

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

②第1回CJPFライブ ー3、構成台本、本番投影資料

◆ 構成台本を準備し、構成を事前に確認した上で、本番に臨むことでスムーズなライブ運営を実施。

構成台本

第1回 CJPFライブ進行要領／プロローグ			
進行プログラム	立ち位置	話者	進行要領
13:40 オープニング			
■開会挨拶 ■司会挨拶 ■場の目的共有		渡邊様	<p>■観覧者の皆様には指定の座席にご着席いただく</p> <p>「お時間になりましたので、2022年CJPFライブを開催させていただきます。」</p> <p>「初めまして、私は本日ナビゲーターを務めます。渡邊賢一と申します。」</p> <p>（渡邊様 自己紹介）</p> <p>「このCJPFライブは、内閣府所管のクールジャパン戦略の一環として開催するもので、記念すべき第一回の本日は、海外・日本の観客の視点から見ると、「日本の食・食文化の魅力の可能性」と、大阪・関西万博、海外プロモーションにも向けた「未来の共創の可能性」について、個性豊かなパネリストの皆様と様々な議論を通じて、視聴者の皆様のご参考になるようなアイデアや、気づきを提供する場になればと考えております。」</p> <p>どうか皆様、最後まで、ご覧いただければと存じます。</p> <p>そして、本日、エグゼクティブパネリストとして ●●●●（胃腸系）夏野剛さんにお越しを頂いております。 夏野さん、一言ご挨拶をいただけますでしょうか。」</p>
■夏野様挨拶		夏野様	（原稿別紙）
■CJPFライブの紹介		渡邊様	<p>「夏野さん、ありがとうございました。それでは、本日のプログラムについてご紹介します。」</p> <p>第一部では、夏野さんと、パネリストとしてBarillaマーケティング & TVシェフのアレッサンドロ・コビエツロさん、山形県鶴岡市観光協会 地産プロデュース サラ・ミヨさん、ONODERA GROUP エグゼクティブシェフ 杉浦に志さんにご登壇いただき、外国人・日本の視点から見る、「日本の食・食文化の可能性」について、2022年現在、世界や日本で起きている食のクールジャパンの様子について紹介しながら議論をしていきます。</p> <p>第二部では、引き続き、夏野さんと、パネリストとして、Sea Tech Trading代表取締役のニモ・グラスマンさん、ジャパンエクスポートエンス エクスポートエンスデザイナー ダコスタ・レティシア、てんぷら小野代表 志村幸一朗さんにご登壇いただき、ビジネスの視点から見る、「日本の食・食文化から始まる未来の共創」について議論をしていきたいと思います。」</p>

本番投影資料

自己紹介



名前

COVIELLO ALESSANDRO

コヴィエッロ アレッサンドロ

出身

イタリア

日本歴

7年

これまでの食・食文化の仕事

- ・イタリアのバスターメーカー Barilla Japan マーケティング
- ・料理研究家・TVシェフ・料理教師
- ・八丈島にカフェ・レストランオーナー
- ・ピザ職人 (Pizzalolo)
- ・イタリアのチーズ・生ハム・トリュフの日本への輸入

自身が考えるこれからの食・食文化の課題・テーマ

マズプロダクションから“伝統とこだわり”に戻りつつあるトレンドを感じながら、どんどん地元の食材の魅力や特徴を宣伝し、農業や事業者を応援したいと思います。

取り組み







(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

②第1回CJPFライブ ー4、振り返りサマリ

◆ 項目ごとに課題点をあげ、次回以降のCJPFライブで対応すべき内容を振り返りサマリとして集約。

次回以降へのアクションサマリ

①事務局

- 本番実施時に足りない準備物を出さないために、**今回の準備物の履歴を残し**、2回目以降の準備に活用する。
- 当日イレギュラー作業、ゲストアテンドの追加要員などを想定し、**事務局サポートスタッフ人数に余裕を持たせて確保**する。

②会場

- 陪席用の席について、余裕をもった席数を用意する。

③ゲスト/進行

- ライブのWeb展開の際、自己紹介の文面を活用する前提で、ゲストと**当初合意していた時間内で各者説明が終えられるよう十分な練習時間や期間を設けるスケジュールを設定**する。
- Zoom参加接続が切れた際の、スムーズな復旧動線を事前に確認する。
- 第2回以降は**構成台本をより細かい粒度で作成し準備**をすることで、当日の議論運営をスムーズに実施する。

④機材

- 機材トラブルが起きたときの運用、**時間バッファ**を取っておき、なるべく収録の運用を検討する。
- 本番前に最終の機材チェックを行い問題がないかを確認する。

⑤収録/編集

- 動画が流れないなどのトラブルに備えて、**バックアップPCを用意**し切り替え対応に備える。

集合写真



会場雰囲気



ゲスト



(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

(画像省略)

③第2回CJPFライブ ー1、企画概要

テーマ

地域食材

仕組み・発信

地域に根ざした食材・事業を通じた、地域の魅力発信
～事業運営を通じた、日本の魅力の海外発信・仕組み化～

日時
場所

2022年11月10日(木)収録
会場: 広島市内(TSSスタジオ)

概要

来年2023年の主要7カ国首脳会議(G7サミット)が開催される広島では、これまでの牡蠣、お好み焼き 等、単品の商品が知れ渡っているところから、広島県・知事がテーマとして掲げる、「元気・美味しい・暮らしやすい」という、地域全体の魅力の発信に力を入れておられます。日本のどの地域にとっても重要なテーマを掲げられる中で、次世代の地域の担い手と海外目線の有識者を交え、広島ならではの事例を発信することで、地域ごとの特色ある魅力づくりに寄与できるコンテンツや仕組みについてディスカッションし、事業共創化できる可能性を探ります。

◆第一部: (次世代の地域の担い手と海外目線で考える、広島の魅力と豊かな食・食文化)

ゲスト: 今田氏、太田氏、ポール ウォルシュ氏

Uターンで広島で活躍されている、日本酒醸造家、ワイン醸造家、そして広島の魅力を知り尽くした海外メディア編集者をお招きして、新たな広島の食文化の魅力は何か? を掘り下げて参ります。

広島固有の「八反草」で醸す日本酒づくりの魅力や、地域に根ざした原料を使った酒造りを通して、視聴者の皆様に地域に眠っている魅力ある素材や食材に気づいていただくきっかけを語っていただき、また耕作放棄地を活用したワインづくりや、フードロスに配慮したレストラン経営等サステナブルな取り組みをご共有いただきつつ、地域がサステナブルでありつづけることの魅力について語っていただきます。

その地域ならではの魅力・取り組みを、海外目線、外国人目線でみた際の魅力について、実際の事例を交え地域の魅力を国内外に広く発信するための視点を語っていただきます。

◆第二部: (日本・海外目線で考える海外に向けた魅力発信と仕組み化)

ゲスト: 白神氏、野中氏、アレックス・ピロット氏

広島のテレビプロダクションから、海外で評価される番組制作の他、外国人目線での海外販路開拓の様々な取組を通じて、地域の魅力を海外へアプローチする手法や知見、海外から求められる日本の魅力について語っていただきます。

外国人クリエイターから広島の魅力を海外に向けて発信される取り組みを通じた知見や、食を起点とした地域価値共創のための仕組みの研究を通じて、他地域への転用や更に地域を発展させるための要点について議論を膨らませさせていただきます。

ゴール

日本の地域に眠る魅力ある資源の掘り起こしや、新しい価値をどのように創出していくことができるかという仕組みの共有を通じて、新しい価値を地域が主体となって生み出す可能性を探り、令和5年度の施策提言に繋げることを目標とします。

想定
視聴者

- ・地域の魅力発信を通じて、事業を発展を企画されている関連事業者、機関
- ・地域の食文化、地域の強みを活かしたブランディングの検討をされている関連事業者、機関

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

③第2回CJPFライブ ー2、登壇者

進行



モデレーター: 渡邊賢一氏



インタビュアー: 楠本 修二郎氏

ゲスト

- ・日本の食・食文化を、地域の食材・素材を用いて製品を作り出されている方々
- ・日本の食・食文化を海外に発信されてこられた方々
- ・日本の食・食文化を仕組み化の研究によって価値貢献されておられる方々

1部



今田酒造本店 4代目蔵元・杜氏 今田 美穂氏

日本酒「富久長」は、瀬戸内海に面した安芸津町にある今田酒造本店(広島県東広島市)の4代目蔵元で杜氏。広島県の在来種の八反草を用いた日本酒『富久長』を醸されている。世界に影響を与えた女性を選ぶBBC毎年恒例の企画で日本人からはただ一人「創造性(Creativity)」にて選出されている。



瀬戸内醸造所代表 太田祐也氏

令和元年に瀬戸内醸造所を三原市に設立。かつて造船所があった場所に立地し、ワイナリーに併設するレストランでは、瀬戸内海を眺めながら地元の食材を使った料理とワインを味わえる施設、耕作放棄地をブドウ畑に活用と、サステナブルな食のあり方を追求されている。



Get Hiroshima 編集長 ポール ウォルシュ

イギリスから、JET(語学指導等を行う外国青年招致事業)で来日。仕事先の広島でいち早く英語でのウェブ発信に乗り出し、広島経済大学講師を務めながら、「広島の魅力」を海外に向けて伝えてきた。外国人向けの広島の観光情報発信メディア「GetHiroshima(ゲット・ヒロシマ)」の編集長を務める。

2部



株式会社TSSプロダクション 白神 道空氏

広島県のテレビ番組のプロデューサーとして数々の賞を受賞。2009年 フランスで放送するレギュラー番組を立ち上げ、プロモーションとフランスで販路開拓を一元化したプラットフォームを構築。内閣府「地域活性化伝道師」に任命されている。世界的なコロナ感染拡大した2019年から約4年で225商品(食加工品)の海外販路開拓を支援し、数々の販路開拓に成功されている。



立命館大学食マネジメント学部准教授 野中 朋美氏

慶應義塾大学環境情報学部卒業後、神戸大学大学院システム情報学研究科特命助教を経て、現在、食サービスを対象に持続可能なサービスシステムデザイン研究に取り組まれている。



映像プロデューサー アレックス・ピロット氏 (フランス)

フランスのテレビ番組テレビ チャンネル Nolife の共同創設者でありプロデューサー。日本に関心を持ち、日本とテクノロジーに焦点を当てたドキュメンタリーやその他の番組を制作されている。

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

③第2回CJPFライブ ー3、構成台本、本番投影資料

◆ 構成台本を準備し、構成を事前に確認した上で、本番に臨むことでスムーズなライブ運営を実施。

構成台本

第2回 CJPFライブ進行要領／プロローグ 構成案			
進行プログラム	立ち位置	話者	進行要領
オープニング ナビゲーター渡邊賢一さん・インタビュアー橋本修二郎さん CJPFライブ2回目開催、広島からのご挨拶			
13:00-13:20			
■開会挨拶 ■司会挨拶 ■場の目的共有	渡邊 橋本 さん さん	渡邊さん	「お時間になりましたので、2022年第2回目となるCJPFライブを開催させていただきます。」 「初めまして、私は本日ナビゲーターを務めます、クールジャパン官民連携プラットフォームディレクターの渡邊賢一と申します。」 「内閣府所管のクールジャパン戦略の一環として取組をしている、クールジャパン官民連携プラットフォームでは昨年より、「食・食文化」を起点に、日本各地の魅力を発信する活動に取り組んでいます。 「食・食文化」は、日本の地域の多様な自然・風土に根ざして、生産者、調理人、作法等の文化、流通、テック/ロジックなど多様な接点を持っています。 今年から開催している「CJPFライブ」では、日本の食・食文化の可能性をメインテーマとし、クールジャパンの最前線で活躍する方にご参加いただき、視聴者の皆様からの意見も含めた双方向型のコミュニケーションを行うことで、新たなマッチングを発見することを目的としています。
■橋本様挨拶	※今田様、 太田様、ボール様 に着席いただくが カメラは ナビゲーター・ インタビュアー	橋本さん	第2回は、「広島」の会場から開催し、第1部と第2部の2部構成で進めてまいります。 そして本日、エグゼクティブパネリストとして、カブエ・カンパニー 代表取締役社長 橋本 修二郎さんにお越しを頂いております。橋本さんはクールジャパン・プロデューサーでもいらっしゃいます。 橋本さん、今日はよろしくお願ひします。一言ご挨拶をいただけますでしょうか。
■CJPFライブ 第2回目紹介		渡邊さん	橋本様 ご挨拶・今日のご期待のメッセージ 橋本さんありがとうございます。広島でのCJライブ楽しみですね。 広島は、2023年の主要7カ国首脳会議(G7サミット)の開催地として、注目が集まっていますね。 また、広島県の瀬崎知事が「元気・美味しい・暮らしやすい」というビジョンを掲げ、新たな広島の魅力発信に力を入れておられるとのこと、本日はなんと、知事の瀬崎さんからもビデオメッセージを頂戴しているとのこと。ありがとうございます。 瀬崎知事からのビデオメッセージ 瀬崎知事のビデオメッセージへの感想 広島といえば、お好み焼、牡蠣、もみじ饅頭などのソウルフードのイメージが強いですが、実は、多彩な気候と産業を持ち、北の「山地」から「瀬原地形」を超えて「低地海」へと、階段状の地形を持つ地形から、新たな多彩な食材の宝庫が生まれているんですよ。今日はとても楽しみです。 視聴者の皆様のご参考になるようなアイデアや、気づきを提供する場にてできればと考えております。 皆様、最後まで、ご覧いただけますと幸いです。
瀬崎知事のビデオ動画を流す			
		渡邊さん・ 橋本さん	

本番投影資料

CJPF LIVE

名前

太田 祐也

出身

広島県三原市

日本歴

38年

これまでの食・食文化の仕事

- ・25歳で地方創生の会社を起業。各地の地域ブランド、観光戦略などを作る中で地域の色の多様性に触れる。
- ・瀬戸内醸造所を立ち上げ、瀬戸内の新しい食体験を提供している。

「自身が考えるこれからの食・食文化の価値・テーマ」

「地域の色の多様性を守るために、一次産業に関わる人たちが次の世代に生業を継承できる仕組みづくりをしています。」

Producing area

Wine grapes producing area

三原市高坂町

高坂開拓団の末裔がつくる「黒い宝石」

広島県三原市の北西部。古くは開拓団として入植した農家達。

気候は、日照時間が長く、寒暖差がある。地質は、花崗岩地質。古くは鉱山などが周りに存在し、ミネラル分が多い水が流れている。

農家は、組合や市場には出荷せず、自ら顧客をつけ、販路を行なっている。販売価格を統一していることから、農家感競争も激しく、切磋琢磨が行われている。

生食用ブドウとして1キロ2,000を超えて贈答用として取引をされる。

ブドウの品質は高く、「供進寺ブドウ」としてのブランド価値は大変高い。

主力ブドウ：ベリーA






© SETOUCHI2010 All Rights Reserved. CONFIDENTIAL

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

③第2回CJPFライブ ー4、振り返りサマリ

◆ 課題点をあげ、次回以降のCJPFライブで対応すべき内容を振り返りサマリとして集約。

	振り返り	要因
良かった点	<ul style="list-style-type: none">広島県知事のメッセージから登壇者のコメントに至るまで、企画コンセプトに沿った一貫通貫したメッセージを伝えることができたCJPFライブで伝えたい内容を、登壇者にお話しいただくことができた	<ul style="list-style-type: none">事前MTGや事前のメールのやりとり、取材時のご訪問で、誰が何を話すかの事前共有と共に、その方に何を話してもらいたいかを個別で丁寧に登壇者に伝えた構成台本の粒度を細かく作成し、登壇者に事前インプットを行った
	<ul style="list-style-type: none">第1回CJPFライブでは、登壇者が作成したスライド通りに話せないこともあったが、第2回CJPFライブでは、登壇者が作成したスライドと話す内容を合わせることができた	<ul style="list-style-type: none">収録時のパソコン操作スタッフが、登壇者が話すこと、全体の流れを理解した上で、スライドを操作することができた(登壇者は作成したスライドの順番通りに話さないことがあるが、登壇者の話の通りにスライドを表示させることができた)
	<ul style="list-style-type: none">CJPFらしさの表現登壇者の取組みをわかりやすく伝える工夫	<ul style="list-style-type: none">ロールパネルの作成フリップの活用、登壇者の取組みがわかるもの(お酒・刊行誌)をご持参いただいた
	振り返り	今後の対応策
改善点	<ul style="list-style-type: none">自己紹介、ご自身の取組みの発表が間延びしてしまった	<ul style="list-style-type: none">「自己紹介」、「ご自身の取組み」を、2週に分けて話す
	<ul style="list-style-type: none">登壇者が交通機関の影響で集合時間に遅れ、リハーサル時間が短くなってしまった	<ul style="list-style-type: none">集合時間を1時間半前に早める

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

③第2回CJPFライブ ー4、振り返りサマリ

◆ 登壇者の取組みをわかりやすく伝えられるよう、製品、フリップ、動画等を積極的に活用。



集合写真



ゲスト



会場雰囲気



④第3回CJPFライブ ー1、企画概要

テーマ

ラグジュアリー

地域発のラグジュアリー観光を通じた魅力発信

食ガストロノミー

～日本らしいラグジュアリーのあり方と、ガストロノミーツーリズムによる地域の魅力創出～

日時
場所

2022年12月10日(土)収録 13時開始
会場: ザ・リッツ・カールトン日光

概要

日本最古のリゾート地とも言われる栃木県は、ジブリの森のような神秘的な自然を持ち、修験道の地にも続く鹿沼、日光奥日光、那須など濃くそして深い自然の魅力が集まっています。水も豊かな栃木では、現在も「天然氷」が生産され、ヤシオマス、湯葉、生乳、通年楽しめる苺、天皇陛下やリッツカールトン、ホテルオークラにも捧げられる高品質な野菜、栃木米(大嘗祭で大嘗米として奉納された御由緒があり、日本最大級の二乗大麦畑からビールを産出)、酒類など豊かな食資源で、国内外からも注目されています。

さらに、2023年7月には、東武鉄道が浅草と日光を結ぶ「新型特急スペーシア」を30年ぶりに導入し、日本の鉄道を通じた新しい近距離ラグジュアリー・ガストロノミーツーリズムの可能性の期待も高まっています。

徳川家康の時代から受け継がれる歴史の深さと、現代も尚続く食・自然の魅力を、地域の観光の担い手たちが一体となって、新たな栃木の魅力として築き上げる先進事例ー第3回は現代の地域の担い手と海外目線の有識者を交え、“日本らしいラグジュアリーやガストロノミーツーリズムとは何か？”をディスカッションし、未来の事業共創に繋ぐ可能性を探ります。

◆第一部：(共創、ラグジュアリー、自然共生、食、ツーリズム)

日本の誇れるもの・こととして取り上げられているジャグジュアリーな事例を共有し、真の日本らしさ、ラグジュアリーについて、地域が展開できる可能性を探ります。

※ジャグジュアリー＝Japan's Authentic Luxury

“本物”で“心地よい”「もの・こと・サービス」を通して、日本発の価値を発信し、新時代に求められる“感動体験”を届ける

◆第二部：(共創、栃木フォーカス＝世界にアピールできる栃木)

栃木を事例に、ザ・リッツ・カールトン日光、世界遺産の日光東照宮、日光国立公園等、魅力的な旅の目的地で味わえるガストロノミーの可能性について議論を深めます。その土地の気候や風土が生んだ自然・文化・産業・食・宿泊・体験といった地域資源を活用し、その地ならではの食文化に触れることを目的としたガストロノミーツーリズムに昇華させるため、外国人旅行者が求めるニーズや、ニーズに応えるコンテンツ拡充・サービス提供、自然と共生するラグジュアリー等の事例について語ります。

ゴール

インバウンドに向けた、「日本の高付加価値旅行」のモデル事例として、旅行者がラグジュアリーツーリズムに求めるニーズを模索し、各地域の地域資源のコンテンツ磨き上げや、情報発信等にヒントとなるような場とする。

想定
視聴者

・富裕層や、インバウンドに向けた高付加価値コンテンツ商品造成を検討する関連事業者、機関
・地域の強みを活かしたブランディングの検討をする関連事業者、機関

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

④第3回CJPFライブ ー2、登壇者

進行



モデレーター：
渡邊賢一氏

ご挨拶

第一部冒頭：
栃木県 福田 富一 知事
第二部冒頭：
国際世界観光機関(UNWTO)駐日事務所代表 本保芳明氏



A.T.カーニー 日本法人会長／CIC Japan会長 梅澤 高明氏
日米で25年にわたり戦略・イノベーション・都市開発関連で企業を支援。国内最大規模の都心型イノベーション拠点CIC Tokyoを2020年秋に虎ノ門に開設、スタートアップを中心とするコミュニティを構築中。観光庁・文化庁による全国各地の観光資源事業の立上げを支援し、政府委員会で富裕層観光(観光庁)、知財戦略(内閣府)などの検討に関与。



合同会社GOTOKU 代表 アレックス・ブラッドショー氏
イギリス・シェフィールド出身。ユネスコ世界文化遺産に登録される仙巖園で海外営業部長を務めるほか、鹿児島県海外広報官や全国での講演など精力的に活動。2019年には合同会社GOTOKUを創業し、全国の自治体や企業に対しラグジュアリートラベラー 市場獲得に向けたコンサルティング等も行う。



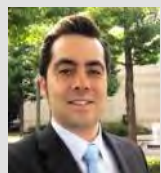
日本ガストロノミー学会 設立代表 山田 早輝子氏
国連やUNESCOと提携し食について研究する国際ガストロノミー学会の日本代表、(株)フードロスバンクの代表取締役を務める。ロスになる食材や花などのブランディング、PRのほか、企業と一緒にサステナビリティやダイバーシティを訴えるイベント等を開催し、多角的に社会問題に取り組む。



慶應義塾大学 白坂 成功氏
慶應義塾大学後期博士課程修了(システムエンジニアリング学)。2010年より慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 准教授。2017年同教授。慶應SDM研究所オーセンティックラクスチャーラーラボにてJAXURY(ジャグシュアリー)研究を行う。



輪王寺 中禅寺立木観音 執行(しぎょう) 人見 良典(ひとみりょうてん)氏
東照宮、二荒山神社とあわせて「二社一寺」と称される輪王寺の執行。境内は東照宮、二荒山神社の境内とともに「日光山内」として国の史跡に指定され、「日光の社寺」として世界遺産に登録。



ジャパン・ワールド・リンク 株式会社 代表取締役 宮地 アンガス氏
栃木県出身。訪日外国人客(インバウンド)の誘客事業などを手掛けるジャパン・ワールド・リンクを設立。内閣府の「クールジャパン・地域プロデューサー」に就任。



ザ・リッツ・カールトン日光 セールス&マーケティング部長 田中 基規氏
ラグジュアリーホテルで数々のセールス経験を経て、ザ・リッツ・カールトン日光にて現職。



株式会社ファーム・アンド・ファーム・カンパニー 代表取締役／大田原ツーリズム 代表取締役社長 藤井 大介氏
経営コンサル事業、「下野農園」惣菜事業・飲食事業等を経営。180軒もの農家民泊を中心とした農村観光を企画・造成する旅行業、街一体型の有形文化財ホテル飯塚邸を運営。





株式会社オトワ・クリエーション サービス、ウェディングプランナー 音羽 香菜氏
米国やイタリアへの留学経験があり、ホスピタリティやスローフード活動の根底を学ぶ。オトワレストランが加盟する「ルレ・エ・シャトー」との連携や、子ども達の食育等も行う。

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

④第3回CJPFライブ ー3、構成台本、本番投影資料

◆ 構成台本を準備し、構成を事前に確認した上で、本番に臨むことでスムーズなライブ運営を実施。

構成台本

第3回 CJPFライブ進行要領／第1部 構成案			
進行プログラム	立ち位置	話者	進行要領
オープニング・第1部 ナビゲーター渡邊賢一さん			
■登壇者紹介	 <p>※渡邊さん、梅澤様、山田様、白坂様、人見様 ※アレックス様はモニター</p>	渡邊さん	早速、ゲストをお呼びしましょう。 第1部は、「ラグジュアリー」というテーマについて、お話を伺いたいと思います。 ナビゲーターとして、 A.T.カーニー 日本法人会長／CIC Japan会長 梅澤 高明氏 日本ガストロノミー学会 設立代表 山田 早彌子氏 慶應義塾大学 白坂 成功氏 合同会社GOTOKU 代表 アレックス・ブラッドショー氏 輪王寺 中禪寺立本観音 執行 人見 良典氏 に登壇いただきます。 よろしくお願いします。
①世界のシフトの現状	 <p>紹介スライド</p>		「出演者紹介」渡邊氏よりスライドを見ながら、ゲストのご紹介 × 5人 今回のCJPFライブでは、「ラグジュアリー・ツーリズムの可能性」について議論していきたいと思っています。 昔は「ラグジュアリー＝豪華」というイメージだったが、ここ最近ではラグジュアリーという言葉の捉え方が変わってきています。実際にどのような変化が起きているのか、聞いてみたいと思います。 問い：「ラグジュアリー」という言葉が、世界ではどのように捉えられているのか、どうシフトしているのか。その変化や、変化の中で各自が行っている取り組みについて教えてください。
【読み方注意】 JAGURY = ジャグジュアリー		白坂様	●白坂氏 ✓日本と欧米圏とは「Luxury」の捉え方が異なることから、日本では価値のあるものやサービスがないのではなく、Luxuryとは認識されていないのではないか ✓Japan's Authentic Luxury = JAGURY(ジャグジュアリー)の取組み。 ※10の視点 ✓ジャグジュアリーを体系化し、日本全国でジャグジュアリーなものが生まれていくことを目指している オープンティック・ラグジュアリーラボを設立
		梅澤様	●梅澤氏 ✓自然文化観光機構で、観光庁・文化庁の予算を活用して、全国でコンテンツ造成を行う。 ✓アップグレードした顧客体験を造成することで、富裕層向け、満足度の高いコンテンツを提供。 ✓ラグジュアリーとは、自然・文化を活かしたものである。キーワードは「ローカリティ」と「文化と観光と町づくりをつなぐ」
		山田様	●山田氏 ✓すべての産業において、サステナビリティはマストである。食料産業は世界3位の温室効果ガスの源となっている。 ✓アルマーニ、ブルガリなど、ラグジュアリーブランドとの共創事例 ✓「地方」の価値観のシフト(都会から離れているのが地方だったものが、地方がユニークネスといわれる時代に変化している)

本番投影資料

自己紹介



名前

白坂成功 (しらさか せいこう)

出身

広島県尾道市

これまでの仕事

東京大学大学院修士課程修了。慶應義塾大学後期博士課程修了(システムエンジニアリング)。大学就任後、三菱電機にて15年間、宇宙開発に従事。HTV、準天頂衛星などの開発に参画。途中、エアバスの衛星開発部門に赴き、欧州宇宙機関向けの開発を実施。大学では大規模複雑・高信頼性システム構築から人間中心のイノベーション創出方法論にいたるまで、幅広い方法論の構築の研究に取組む。2010年より慶應SOM准教授。2017年より同教授。2020年よりIPAデジタルアーキテクチャデザインセンターアドバイザーボード座長、様々な政府委員会委員や社外取締役等を兼任。

自分が考えるこれからのラグジュアリー・ツーリズムの課題、テーマ

「ほんもの」の「上質さ」の「体験価値」への転換と体系化
それを支えてきた受け手の存在の重要性再認識と人材育成

取り組み

方法論作り、体系化研究



● 世界観

● 価値観

● 消費観

● 生活観

● 文化観

● 環境観

● 社会観

● 経済観

● 政治観

● 教育観

● 医療観

● 福祉観

● 宗教観

● 芸術観

● 科学観

● 技術観

● 産業観

● 地域観

● 国際観

● 未来観

日本と欧米圏とは「Luxury」の捉え方が異なることから、日本では価値のあるものやサービスがないのではなく、Luxuryとは認識されていないのではないか。

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

④第3回CJPFライブ ー4、振り返りサマリ

◆ 課題点をあげ、次回以降のCJPFライブで対応すべき内容を振り返りサマリとして集約。

	振り返り	要因
良かった点	<ul style="list-style-type: none">第1部は、登壇者同士のコミュニケーションが活発で、議論を深めることができたCJPF事業として新たに議論したい観点が生まれた	<ul style="list-style-type: none">事前MTGや当日の昼食にて、議論ポイントのすり合わせをすることができた
	振り返り	今後の対応策
課題点	<ul style="list-style-type: none">ご自身の取組みの発表が間延びしてしまった	<ul style="list-style-type: none">事前に発表時間をご案内するだけでなく、「あと●分」のボードを用意するリハーサル時間を長めに確保する
	<ul style="list-style-type: none">登壇者より「地域の事業者様が、ないがしろにされていると感じる」というご意見があった第2部の議論が第1部の内容(ラグジュアリーの総論やサステナブルの話)に引っ張られてしまい、栃木の話を深掘りすることができなかった	<ul style="list-style-type: none">第1部、第2部の構成メンバーによって、第1部と第2部の順番を決める(今回のように第1部が外部有識者、第2部が地域事業者の場合は、地域事業者のパートを先に実施する)事前リハーサルで議論のポイントを改めてお伝えする
	<ul style="list-style-type: none">登壇者より「外資系ホテルで実施すること自体がクールジャパンの目的に反しており、日本の魅力を発信している場所等で実施すべき」というご意見があった	<ul style="list-style-type: none">開催場所の選定基準を再度検討する
	<ul style="list-style-type: none">第2回目ほど地域にフォーカスした議論ができなかった。CJPFライブのコンテンツの実施方向性について、来期に向けて認識合わせを改めて行いたい。	<ul style="list-style-type: none">CJPFライブ2回目の時のように地域発信なのか、同じ地域発信だったとしても栃木のような全体総論でも良いのか

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

④第3回CJPFライブ ー4、振り返りサマリ

①世界のシフトの現状について

- 【白坂様】・JAGURY(ジャクシュアリー)→日本の本物のオーセンティックなもの、10の視点(質的量的分析の手法)
- 【梅澤様】・クラシックラグジュアリー:贅沢、ステータス、シンボル⇒モダンラグジュアリー:贅沢より経験、意識の高さ
- 【山田様】・温室効果ガス⇒21-31%が食品ロス。ラグジュアリーにサステナビリティは外せない
- 【人見様】・ラグジュアリーとは⇒日光を訪れる人、一人ひとりに満足できることを提供すること
- 【アレックス様】・テーマは伝統文化の紹介、地域文化の継続。地方のネームバリューがないことが課題

②変化の背景について

■どういった変化が起きているか

- ・ものさし(価値観)のシフト
 - ⇒おいしいだけではなく、サステナブルな観点(地産地消等)／地方＝ユニーク、魅力が多い
- ・良いものを作れば売れる時代は終わった
 - ⇒ローカルの良さをだした商品づくりだけでなく、「グローバルな視点をもった伝え方」が大事
 - └ 地元の人は、ローカルの魅力に気づいていない
 - └ 体系化が大事。事例を持っていくと、どこの地域でやっても同じものができてしまう。事例ではなく、考え方を展開する
- ・世界のトレンドワードのシフト
 - ⇒ウェルネスというワードなど、日本は世界のトレンドから遅れている
 - └ 日本はもったいない文化があり、昔からサステナビリティをやっているが、伝えられていない
 - └ 日本の価値に気づき、なぜそれが良いのかを言語化し、ブランディングしていくことが必要

■どうしたら地域の方は、地域の魅力に気づくことができるのか

- ・認知バイアス、専門家バイアスを外す(地元×よそ者のコラボ⇒イノベーションのルール)
- ・観光以外のプレイヤーがニッチなニーズを深掘りしていく
- ・価値をデザインすること、価値観を説明すること

③スモールステップ

- 【白坂様】・事例からの分析・体験⇒論文化／バイアスを崩してまわる
- 【梅澤様】・観光文化まちづくりスタートアップ
- 【山田様】・まずは自分を知り、新しい油を受ける
- 【人見様】・伝統文化発展。次の代に引き継ぐ
- 【アレックス様】・白紙に戻す。日本文化の良さは何か、再検討する。



(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

④第3回CJPFライブ ー4、振り返りサマリ

①各自の取組みについて

- 【田中様】・クラフトマンシップを活かしたホテルづくり、地域資源を活かした食やアクティビティ
・地域の編集者になり、地域に還流する
- 【藤井様】・農業を中心に活性化する
・農家民宿、地域活性化のイベント、長期滞在者向けのホテル経営
- 【宮地様】・酒造ツーリズム
・訪日以降のある外国人のコミュニティ運営、情報発信
- 【音羽様】・地域をデザインする、価値の編集
・ルレエシャトーを通じた日本の魅力の発信



②栃木におけるラグジュアリーツーリズムの可能性について

■地域資源の可能性について

- ・オーセンティシティ。何十年、何百年と続いているもの。本物が眠っている
 - └ 歴史的な価値
 - └ 自然

■情報編集・情報発信

- ・レストランを地域の魅力的な情報の発信の場にできる
- ・ターゲットに合わせて見せ方を変えていく
- ・外国人目線を大切にするとともに、住んでいる人達の想いも大切に
- ・地域の観光資源を
 - ⇒そして地域に還流する。事業者との共創(WinWinの関係性)

■フードサステナビリティ

- ・エコな経営(エコ包装、地産地消など)



③スモールステップ

- 【田中様】・ラグジュアリーブランドを介しての地域ブランディングの引上げ
- 【藤井様】・農家のホテル ※一般旅行者に受け入れられる農村宿泊
- 【宮地様】・満足度アップ
- 【音羽様】・共有共存



(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

⑤第4回CJPFライブ ー1、企画概要

テーマ

日本の文化

情報編集・発信

CJPF AWARDの審査員と共に考える
クールジャパン施策の未来



日時
場所

2023年3月9日(木)収録
会場:グラントウキョウサウスタワー 33階 収録スタジオ

概要

数々の知見を持つ審査員から、日本の魅力を磨き上げ・発信する上で重要な観点を議論していただきます。
CJPF AWARDの審査を行う中で、今回の受賞案件だけに限らず、どのような視点で評価をしたか、またなぜその視点を大事にしているのか等、幅広い視点で議論を行い、今後のクールジャパン強化していきたいポイント(展望)のヒントを得る場とします。
登壇者が各部門6名(ファシリテーター含む)と多いので、回答にはフリップを用い、テンポよく議論を進めていきます。

◆ムービー部門:

ファシリテーター:渡邊氏/ゲスト:辻氏、佐藤氏、レティシア氏、牧野氏

- 1、受賞作品に触れつつ、良かったと感じたポイントと、その理由
- 2、次回アワードへの応募に向けて、ムービー応募作品に期待することについて

⇒日本の魅力的な地域資源への着眼(食だけでなく、今まであまり注目されていなかった日本文化・大衆文化等の発信)や、その魅力を端的に伝えるポイント(海外視点や、映像表現に求められるもの)などについて深掘りします。

◆プロジェクト部門:

ファシリテーター:山田氏/ゲスト:夏野氏、梅澤氏、楠本氏、コーカー氏、コチュ氏

- 1、受賞作品に触れつつ、良かったと感じたポイントと、その理由
- 2、次回アワードへの応募に向けて、プロジェクト応募作品に期待することについて

⇒アウトバウンド(海外への仕掛け・工夫)や、インバウンド(誘客を行うための仕掛け・工夫)について、オンライン、オフライン両方の目線で、重要なポイントを議論します。

ゴール

日本の魅力を発信するクールジャパンの取組みとして、各地域の地域資源のコンテンツ磨き上げや、受け入れ環境整備、情報発信等に展開できるようなポイントを深掘りし、令和5年度の施策提言に繋げることを目標とします。

想定
視聴者

・地域の強みを活かした情報発信や、プロダクト開発を検討されている関連事業者、自治体

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

⑤第4回CJPFライブ ー2、登壇者

進行



ムービー部門
モデレーター: 渡邊 賢一氏



プロジェクト部門
モデレーター: 山田 早輝子氏

ムービー部門



審査員長 辻 芳樹 (学校法人辻料理学館 理事長 辻調理師専門学校 校長)



牧野 友衛(一般社団法人メタ観光推進機構 代表理事/日本政府観光局(JNTO)デジタル戦略アドバイザー)



佐藤 一毅(国際オタクイベント協会 代表/ Circle.ms 代表)



ダコスタ・レティシア (Japan Experience株式会社プロダクト・マネージャー)

プロジェクト部門



審査員長 夏野 剛
近畿大学 情報学研究所所長 特別招聘教授



A.T.カーニー 日本法人会長/ CIC Japan会長 梅澤 高明氏



楠本 修二郎(カフェ・カンパニー 株式会社 代表取締役社長)



コチュ・オヤ 株式会社Oyraa 代表取締役社長




ローレン・ローズ・コーカー (Vegas PR Group 代表)

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

⑤第4回CJPFライブ ー3、構成台本、本番投影資料

◆ 構成台本を準備し、構成を事前に確認した上で、本番に臨むことでスムーズなライブ運営を実施。

構成台本

第4回 CJPFライブ進行要領／ムービー部門			
進行プログラム	立ち位置	話者	進行要領
14:25～15:15 / ナビゲーター渡邊賢一さん			
<ul style="list-style-type: none"> ■開会挨拶 ■司会挨拶 ■場の目的共有 	司会  渡邊様・辻様・佐藤様・ダコスタ様・牧野様	渡邊様	<p>お時間になりましたので、第4回目となるCJPFライブ【ムービー部門】を開催させていただきます。私は本日ナビゲーターを務めます、クールジャパン官民連携プラットフォームディレクターの渡邊賢一と申します。</p> <p>内閣府所管のクールジャパン戦略の一環として取組をしている、クールジャパン官民連携プラットフォームでは昨年より、「食・食文化」を起点に、日本各地の魅力を発信する活動に取り組んでいます。この「CJPFライブ」は、クールジャパンの最前線で活躍する地域事業者の方々と、日本の食・食文化の可能性をメインテーマとして議論をしてきましたが、第4回CJPF Liveでは、CJPF AWARDムービー部門の審査員のみなさまにご登壇いただきます。</p> <p>本アワードの受賞作品に触れつつ、良かったと感じたポイントと、その理由について幅広い視点で議論を行いながら、次回アワードへの応募に向けて、ムービーの応募作品に期待することについても議論できればと思います。</p> <p>視聴者の皆様のご参考になるようなアイデアや、気づきを提供する場にできればと考えております。皆様、最後まで、ご覧いただけますと幸いです。</p> <p>それでは、まずは、ご登壇のみなさまをご紹介しますいただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クールジャパン官民連携プラットフォーム共同会長、 「CJPF AWARD2023」ムービー部門の審査委員長を務める 学校法人辻料理学院 理事長 辻調理師専門学校 校長 辻 芳樹(つじ よしき)様 ・国際オタクイベント協会 代表／Circle.ms(サークルドットエムエス)代表 佐藤 一毅(さとう かずたか) 様 ・Japan Experience株式会社プロダクト・マネージャー ダコスタ・レシシア様 ・一般社団法人メタ観光推進機構 代表理事／日本政府観光局(JNTO) デジタル戦略アドバイザー 牧野 友衛(まきの ともしえ)様 <p>よろしくお願いいたします。</p>
		各審査員は、 自席にて 着座のまゝ 一礼	

本番投影資料

テーマ①
良かったと感じたポイントと、
その理由について

CJPF LIVE

テーマ②
次回アワードへの応募に向けて、
ムービー応募作品に期待すること

CJPF LIVE

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

⑤第4回CJPFライブ ー4、振り返りサマリ ムービー部門

①良かったと感じたポイントと、その理由について

【辻様】curiosity(探求心)。一人の国際人として、この作品に巻き込まれていきたい、と思えることが大事。

【佐藤様】多彩なバリエーション。王道ではなく、地方の多彩な魅力を見てみたい。
全世界の人に幅広く見てもらうのか、ターゲットを決めるのか。

【ダコスタ様】人⇄文化⇄地域。すべてつながっているの、セグメンテーションがなく、全体論的なアプローチが良い。
ストーリーテリング+自分が参加できるストーリーなのか(没入感)
相手(視聴者)が求めていることと、自分の個性を伝えることのバランス

【牧野様】映像作品。多くの作品の中で、見てもらうためにどのように工夫しているのか、テクニックを重視している。
外国人目線で作られてること。

【渡邊様】デバイスごとの映像表現の仕方

②次回アワードへの応募に向けて、ムービー応募作品に期待すること

【辻様】人間臭さ。今までは「本質」⇒これからは「Humor」
外国人が見たい日本は、自分たちが伝えたい日本ではないかもしれない、ということを常に考え、
様々な側面を見せていくことが大切。

【佐藤様】ターゲットに向けた企画。全世界の人に広くアピールする王道ではなく、ターゲットは狭くても、深く刺さり、
「日本に行きたい」と思わせるような作品。
自分たちが「当たり前」と思っているうちは、価値に気づけないので、協働制作などで外の目線を入れる。
海外の方が作った、海外目線の日本のPR動画も見てみたい(海外からどう見られているのか)

【ダコスタ様】国内外の共同創作。外国×日本・外国×外国というコラボによって、視聴者は増える。

【牧野様】クールジャパン。

- ①何を紹介するか(伝統文化が多いが、今の日本、地方の町の紹介をもっと見たい)
- ②どう表現するか(縦横のフォーマットや映像の長さなど)
外の視点をどう取り入れて、ドライブしていくか。



(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

⑤第4回CJPFライブ ー4、振り返りサマリ プロジェクト部門

①良かったと感じたポイントと、その理由について

【夏野様】BORDERLESS。日本国内と海外へのアクセスに、違いがなくなっていると感じる。
日本人も詳しく知らない忍術が体系化されているなど、日本の幅広い価値が深掘りされている。

【梅澤様】世界で愛される日本固有の文化。アニメ、食はクールジャパンど真ん中だが、スナックや駅弁など、
日本独自の文化が、海外でそのまま受け入れられるようになっている。
オーセンティック+ローカルティ。

【楠本様】NEWエクスペリエンス。体験価値がダイレクトに価値(ビジネス)につながっている。

【コーカー様】Challenge !

【コチュ様】外国人に響くポテンシャル。海外の方が、自分の国にしながら日本の文化を体験できるようになった。

【山田様】グローバル

②次回アワードへの応募に向けて、ムービー応募作品に期待すること

【夏野様】AMBITION。海外に受け入れられるか不安はあるが、野心を持って世界に出てほしい。
日本人は、リスクフリーのために安い価格設定にしようとするが、勇気を持った値付けをしてほしい。

【梅澤様】Luxury。プロダクトだけでなく、地方部で、文化を切り口にした富裕層向けの体験。
日本には、質が高く、かつ幅の広いコンテンツがたくさんある。
日本の質の高いコンテンツは、大量生産ができないので、価格を上げるしかない。

【楠本様】価格倍増。日本は「安くておいしい」ではなく、日本の価値を上げていく取組みが必要。官民連携でサポート。

【コーカー様】imagination。今までにない新たな発見、びっくりできるようなもの。

【コチュ様】日本ファンを増やすこと。ニッチなところまで日本の魅力を届けるような取組み。

【山田様】国際化より多様化。日本には独自文化がたくさんある。
日本はモノを作るのは上手だが、伝えることが苦手。良いものを作れば売れる時代は終わった。

